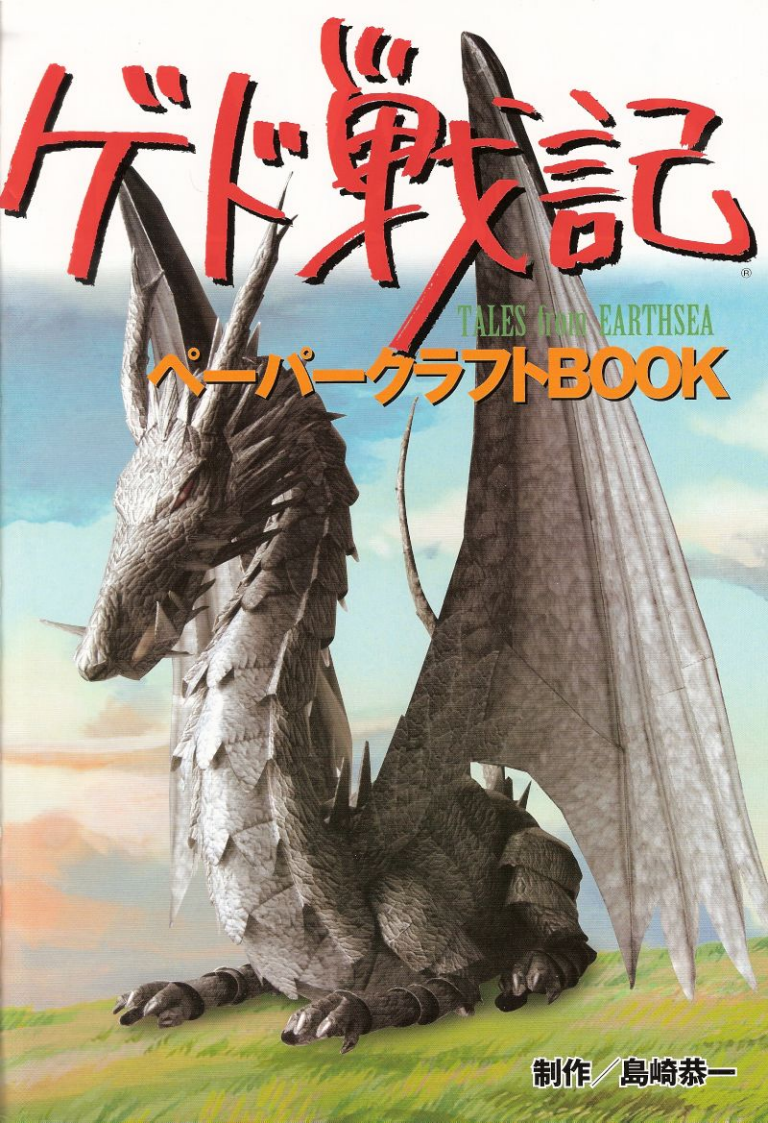
ゲド戦記®

TALES from EARTHSEA

ペーパークラフトBOOK



制作／島崎恭一

ゲド戦記

TALES from EARTHSEA

ペーパークラフトBOOK

制作／島崎恭一



心を紙に例えよう。

物語（ストーリー）の鍵を握る竜を完全再現！

ペーパークラフト新時代！　精密なデジタル設計





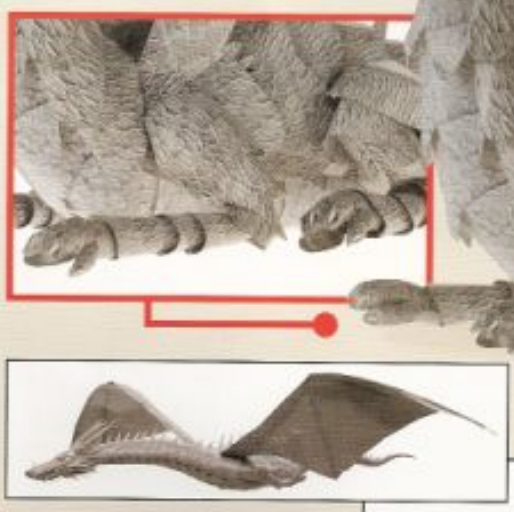

大地にどっしりかまえる。



座りタイプの羽は、
本体にポケット状に
作ったパーツに
差し込む。

羽は、貼り合わせて
から裾をカット
するときれいに
仕上がる。

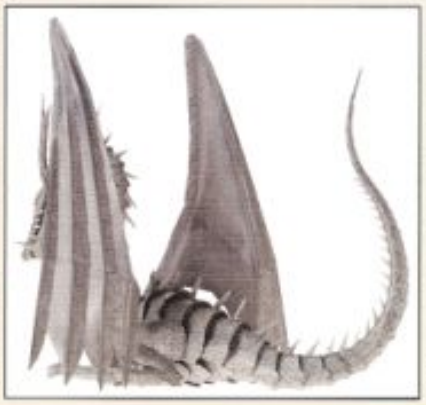














顔パーツのアップ。
座りタイプ、飛行タイプともに
口が開閉する。





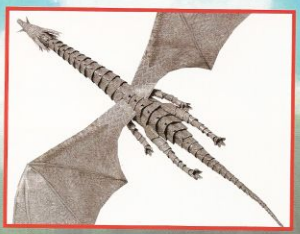


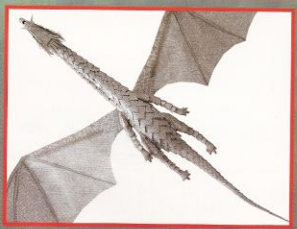
天高く舞う。





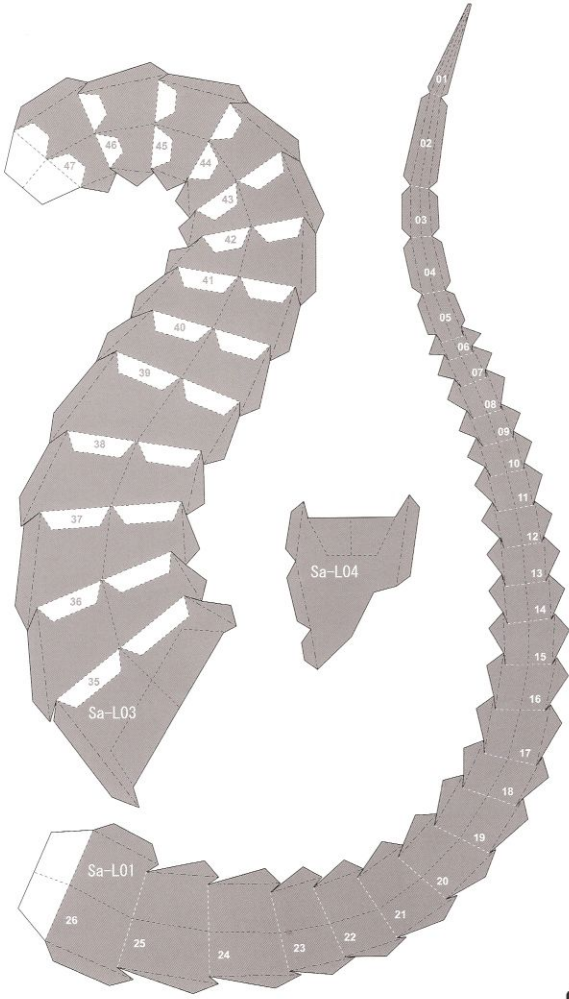

TALES from EARTHSEA

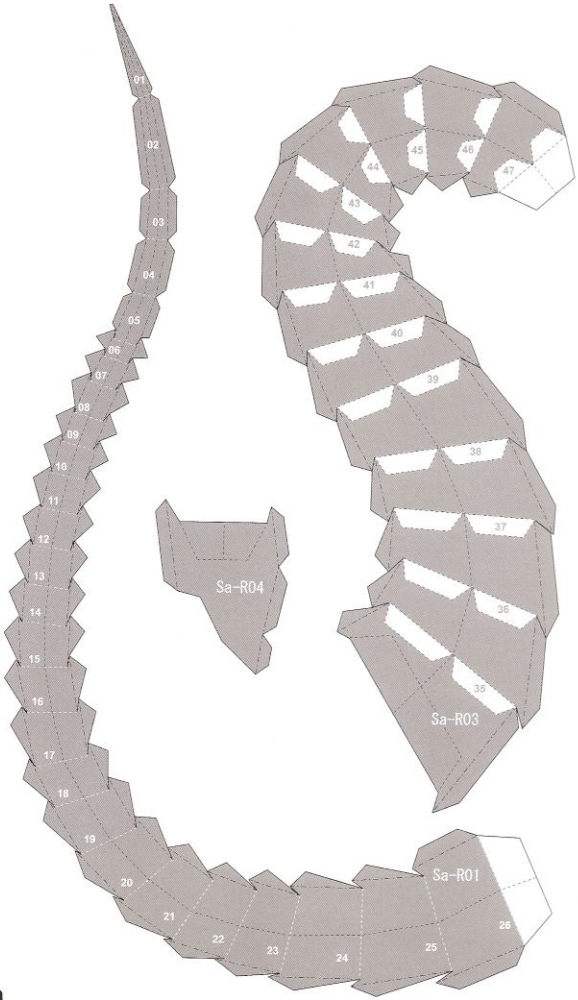


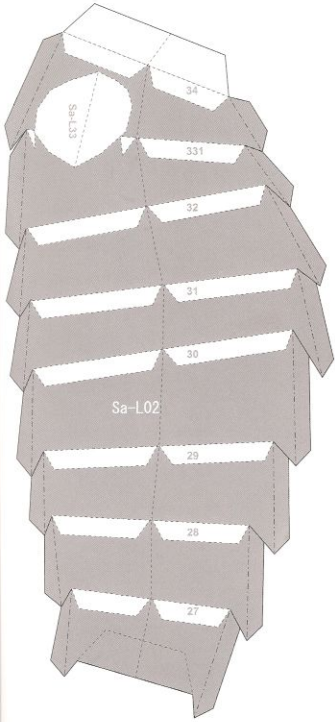


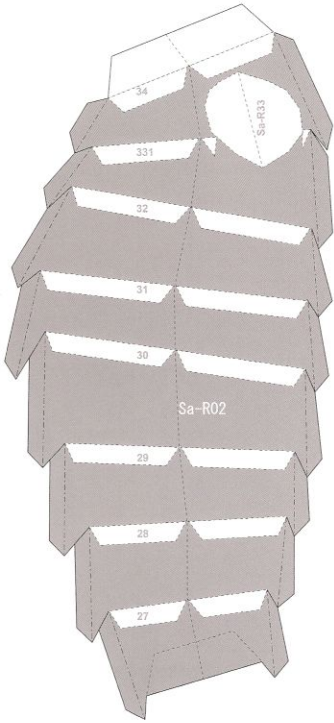
飛行タイプは大きいので、
作業は大変。
その分、出来上がった時の
感動も大きい。

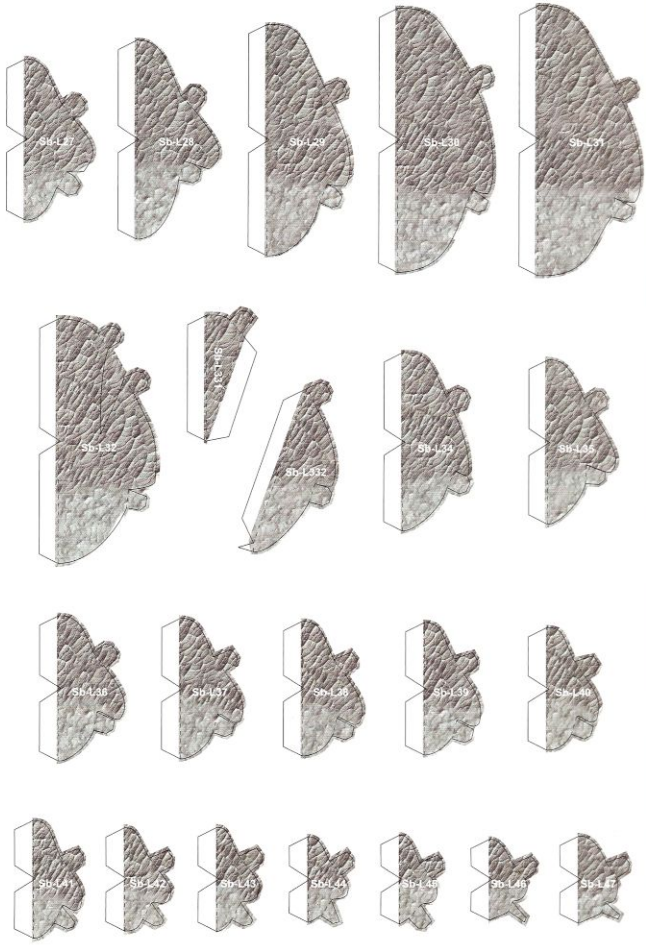
※このペーパークラフトは試作品につき
色や細部が製品版とは異なります

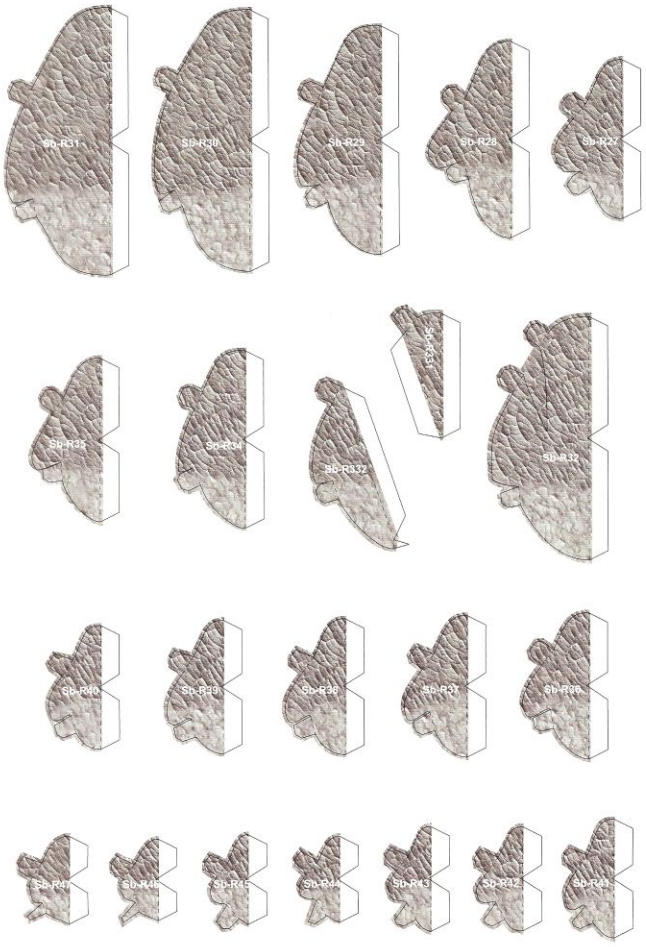

01
02
03
04
05
06
07
08
09
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
Sa-L01
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
Sa-L03
Sa-L04


01
02
03
04
05
06
07
08
09
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
Sa-R04
Sa-R03
Sa-R01


Sa-L33
34
331
32
31
30
Sa-L02
29
28
27

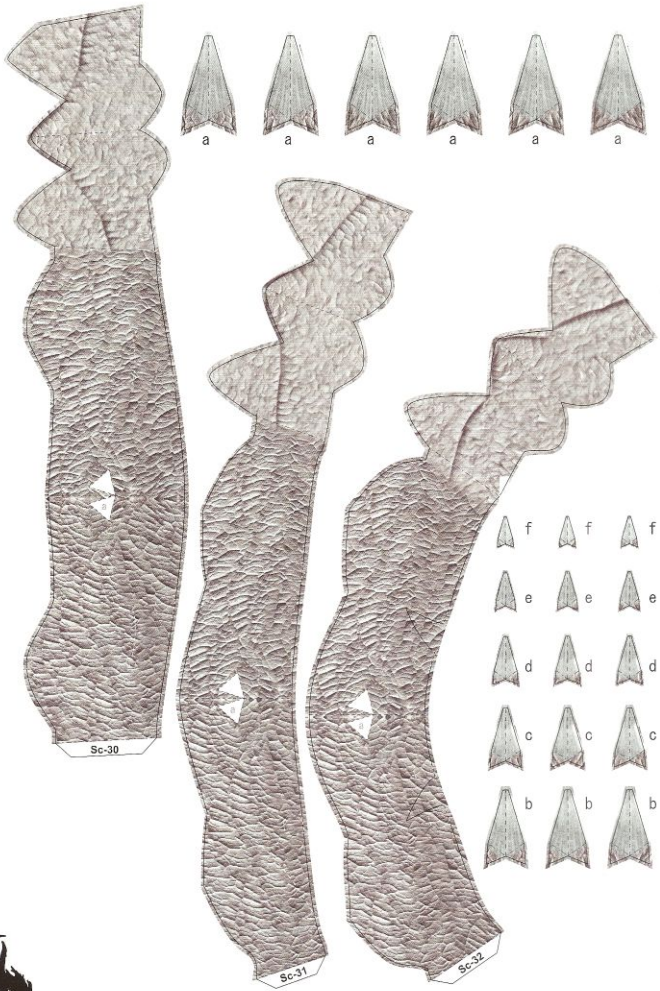

34
Sa-R33
331
32
31
30
Sa-R02
29
28
27

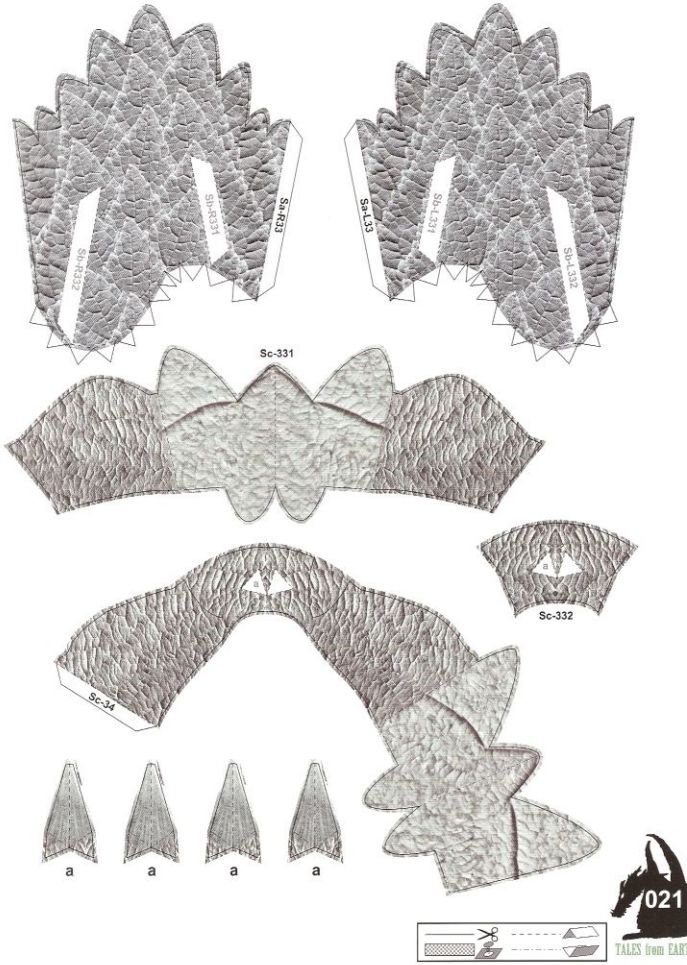

Sb-L27
Sb-L28
Sb-L29
Sb-L30
Sb-L31
Sb-L32
Sb-L32
Sb-L33
Sb-L34
Sb-L35
Sb-L36
Sb-L37
Sb-L38
Sb-L39
Sb-L40
Sb-L41
Sb-L42
Sb-L43
Sb-L44
Sb-L45
Sb-L46
Sb-L47

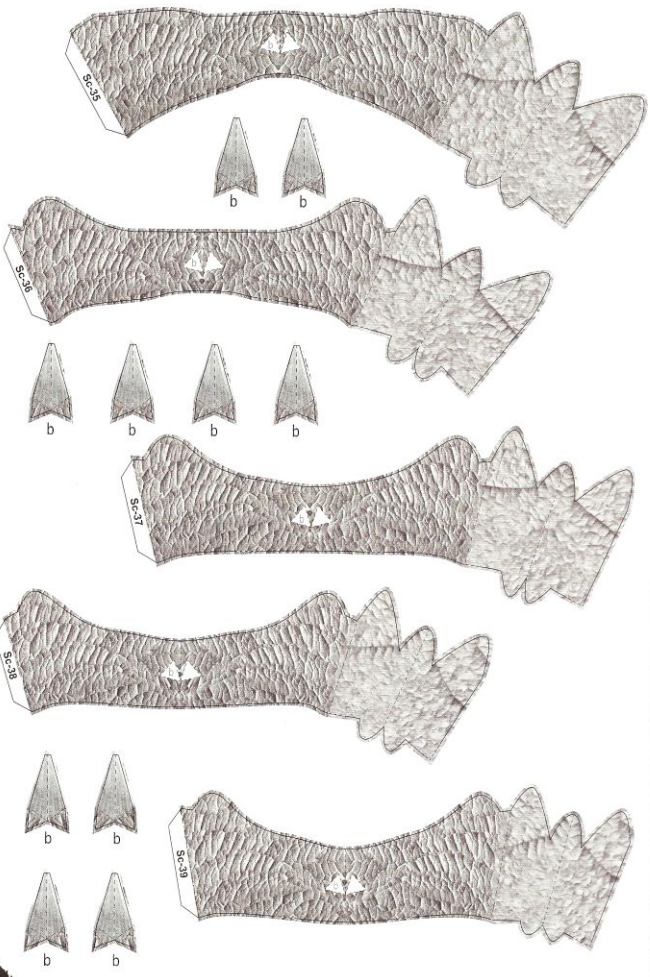

Sb-R31
Sb-R30
Sb-R29
Sb-R28
Sb-R27
Sb-R35
Sb-R34
Sb-R33
Sb-R32
Sb-R40
Sb-R39
Sb-R38
Sb-R37
Sb-R36
Sb-R47
Sb-R46
Sb-R45
Sb-R44
Sb-R43
Sb-R42
Sb-R41

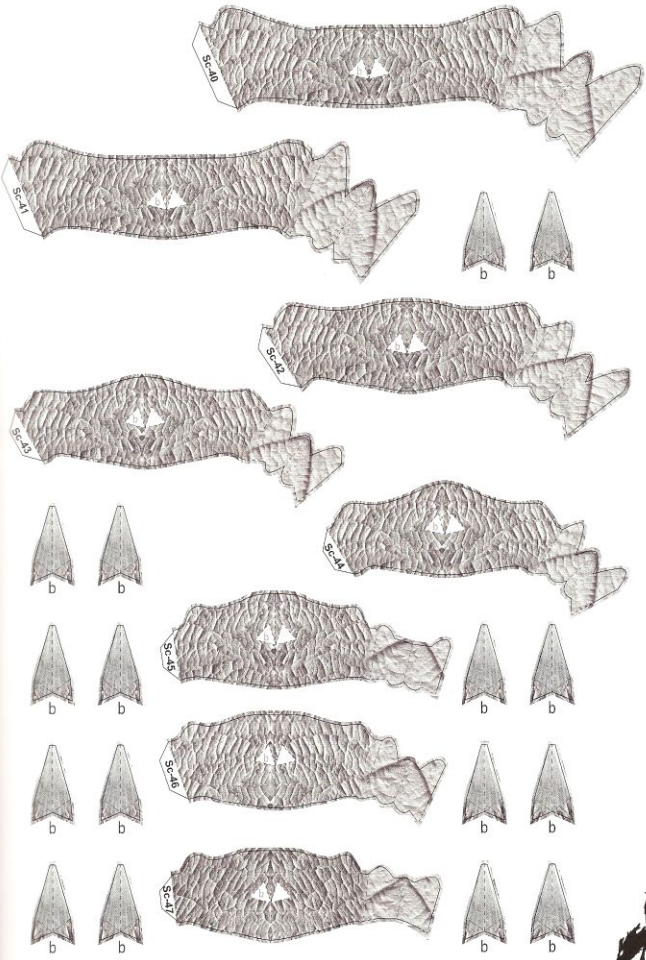
Sc-01
Sc-02
Sc-03
Sc-04
Sc-05
f
Sc-06
f
Sc-07
f
Sc-08
f
Sc-09
f
Sc-10
e
Sc-11
e
Sc-12
e
Sc-13
e
Sc-14
d
Sc-15
d
Sc-16
Sc-17
d
Sc-18
d
Sc-19
c
Sc-20
c
Sc-21
c
Sc-22
c
b
Sc-23

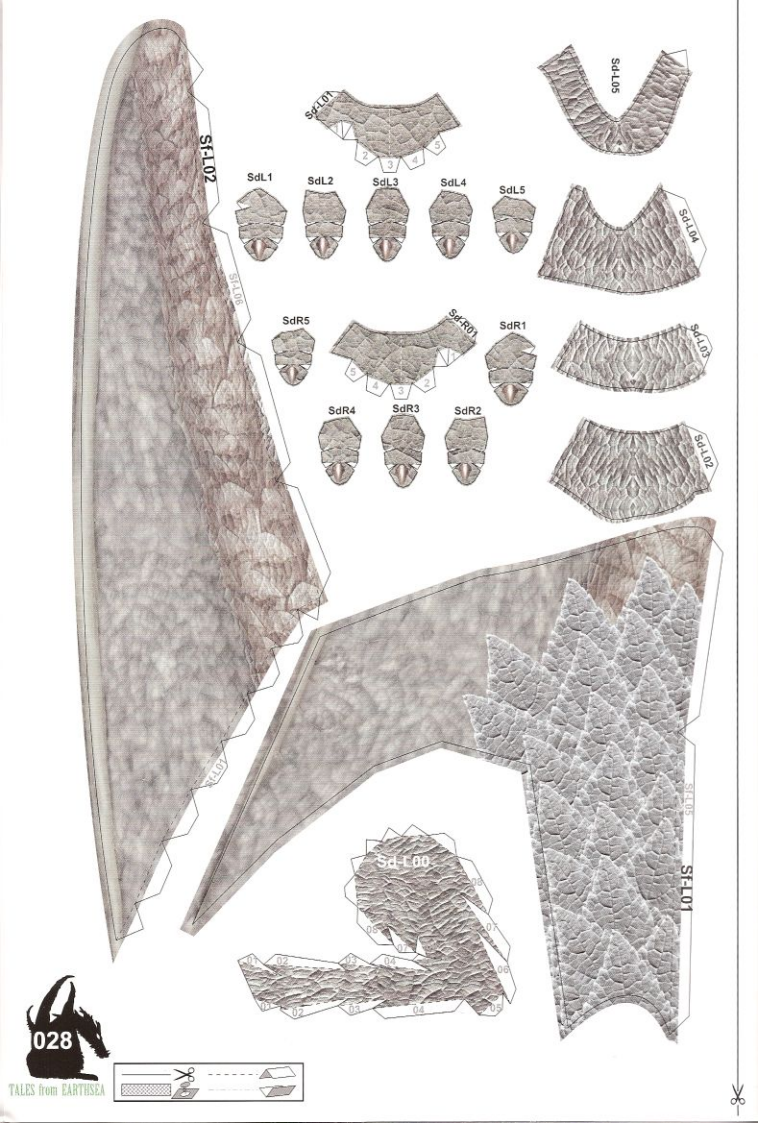
Sc-24
Sc-25
Sc-26
Sc-27
Sc-28
Sc-29
a
b
c
d
e
f

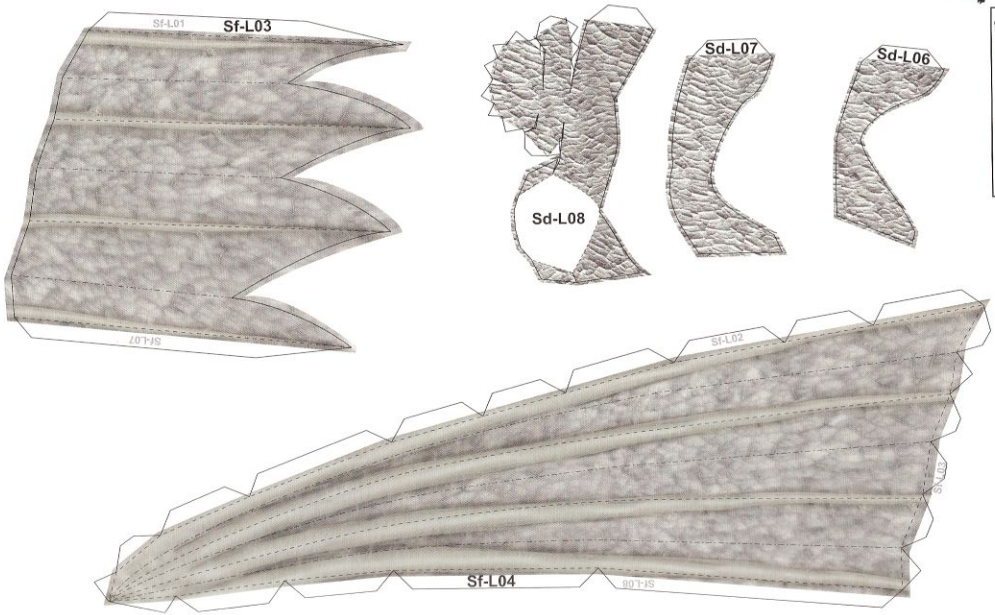

a
a
a
a
a
a
f
f
f
e
e
e
d
d
d
c
c
c
b
b
b
Sc-30
Sc-31
Sc-32

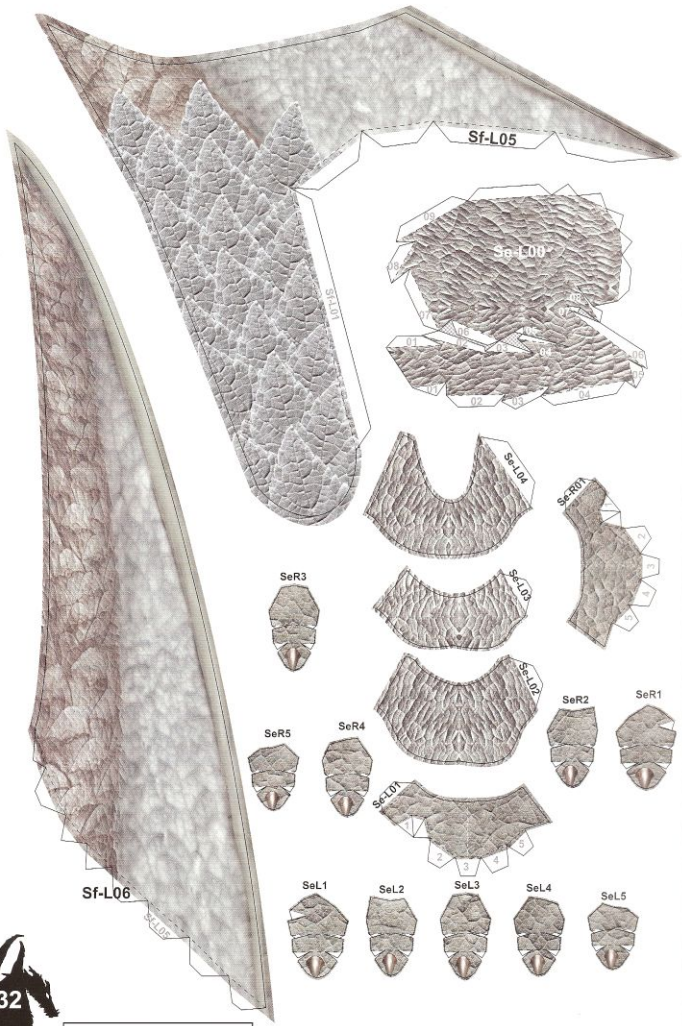

Sh-R332
Sh-R331
Sa-R33
Sa-L33
Sh-L331
Sh-L332
Sc-331
Sc-332
Sc-34
a
a
a
a


Sc-35
b
b
Sc-36
b
b
b
b
Sc-37
Sc-38
b
b
b
b
Sc-39


Sc-40
Sc-41
b
b
Sc-42
Sc-43
Sc-44
b
b
Sc-45
b
b
b
b
Sc-46
b
b
b
b
Sc-47
b
b
b
b

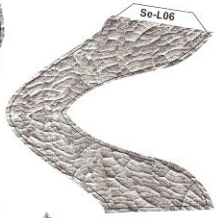

Sd-L05
Sd-L01
Sd-L04
SdL1
SdL2
SdL3
SdL4
SdL5
Sd-L02
Sd-L03
SdR5
Sd-R01
SdR1
SdR4
SdR3
SdR2
Sd-L02
Sd-L00
Sd-L01


Sf-L01
Sf-L03
Sf-L07
Sd-L08
Sd-L07
Sd-L06
Sf-L02
Sf-L04
Sf-L05
Sf-L06


Sf-L05
Sf-L01
Se-L08
Sf-L06
Se-L04
Se-R01
SeR3
Se-L03
Se-L02
SeR2
SeR1
SeR5
SeR4
Se-L01
SeL1
SeL2
SeL3
SeL4
SeL5

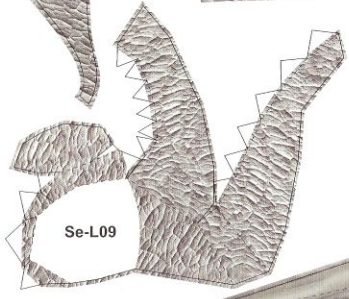

Se-L06


Se-L07


Se-L06


Se-L03

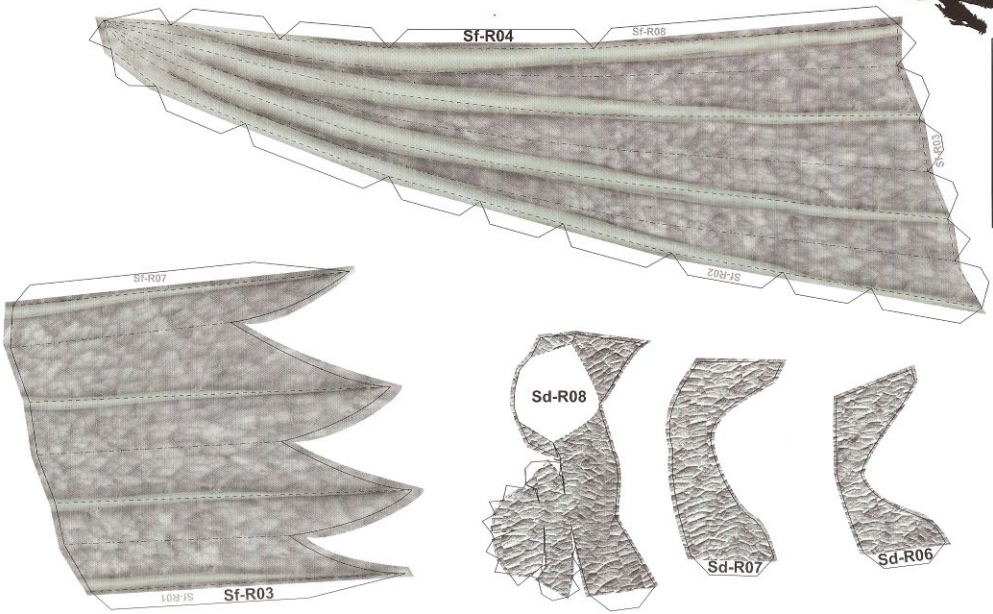

Sf-L05
Sf-L07

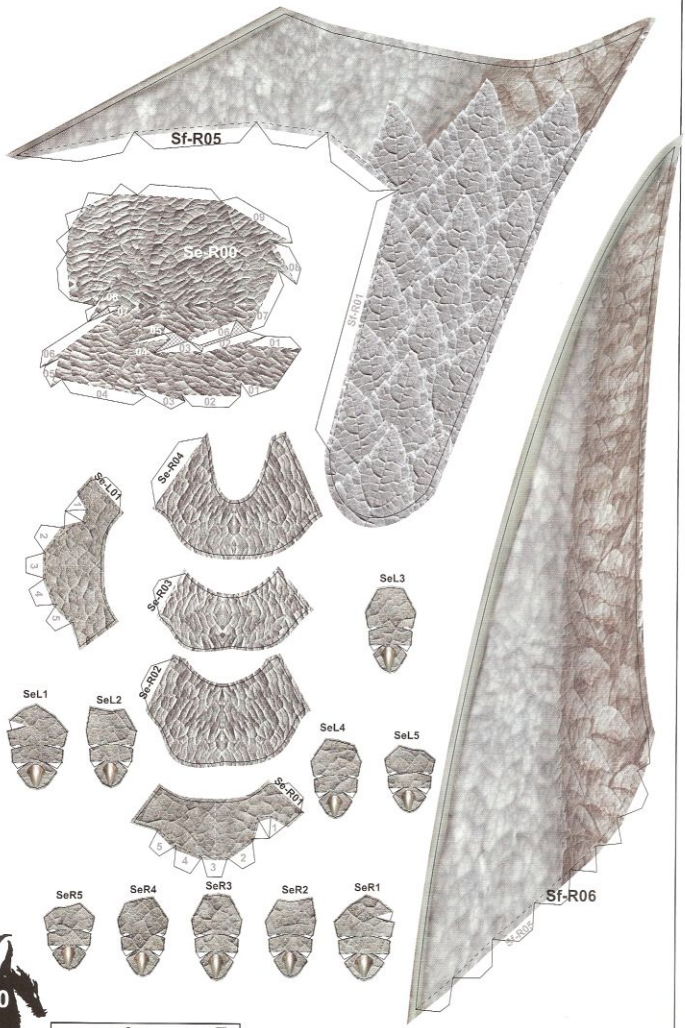

Se-L09

Sf-L08
Sf-L06

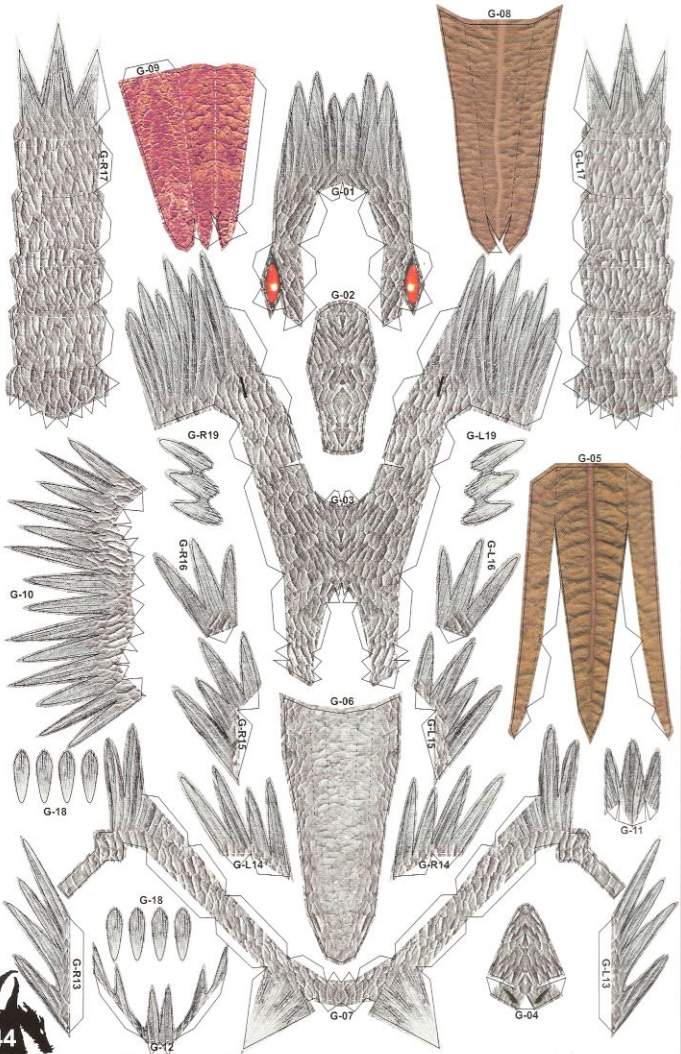


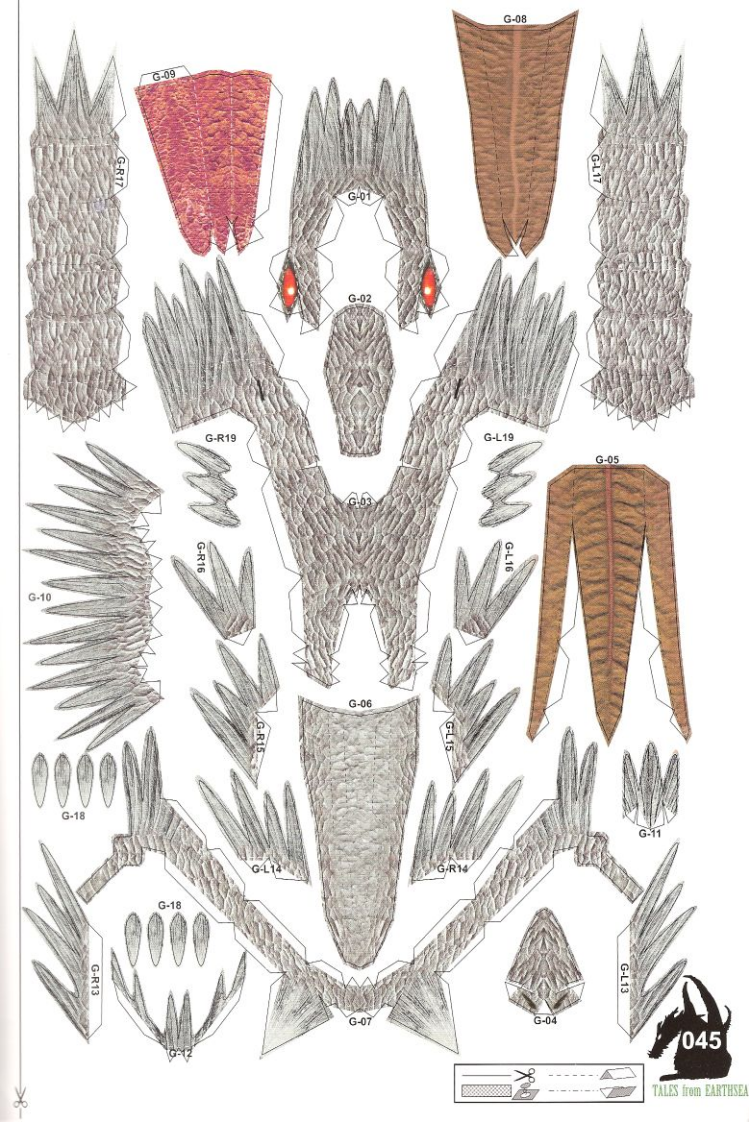

Sd-R05
Sf-R01
Sd-R04
SdR5
SdR4
SdR3
SdR2
SdR1
Sf-R02
Sd-R03
SdL1
Sf-L01
SdL5
Sd-R02
SdL2
SdL3
SdL4
Sf-R03
Sf-R01
Sd-R00

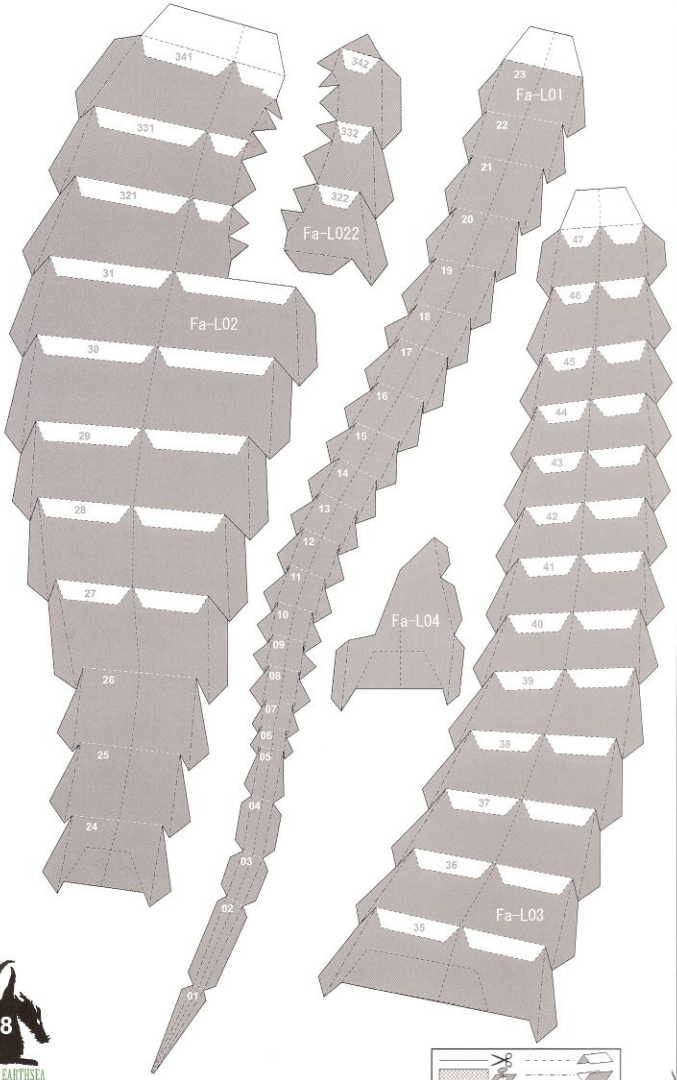

Sf-R04
Sf-R08
Sf-R03
Sf-R02
Sf-R07
Sf-R03
Sf-R01
Sd-R08
Sd-R07
Sd-R06

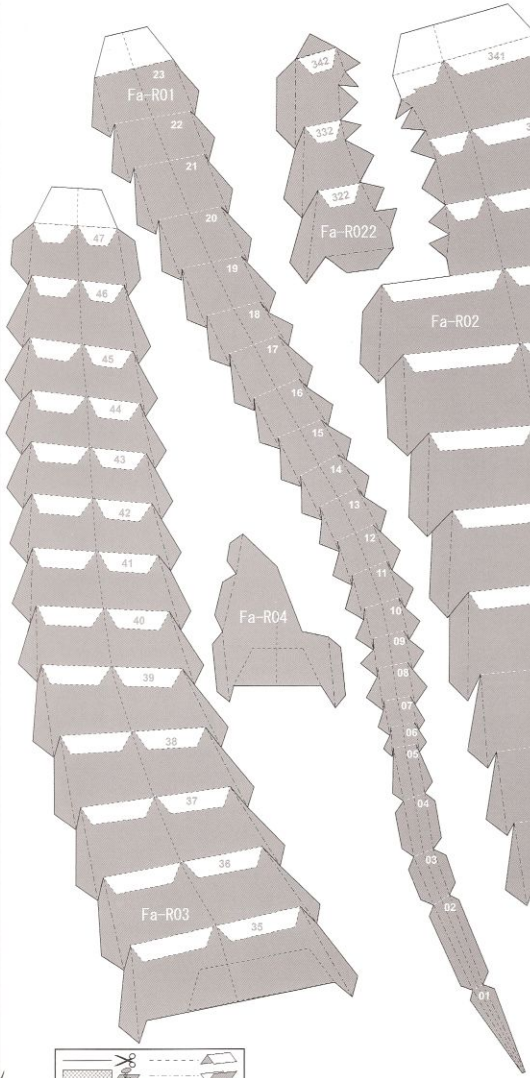

Sf-R05
Se-R00
Sf-R01
Se-L01
Se-R04
Se-R03
Se-R02
Se-R01
SeL1
SeL2
SeL3
SeL4
SeL5
SeR5
SeR4
SeR3
SeR2
SeR1
Sf-R06

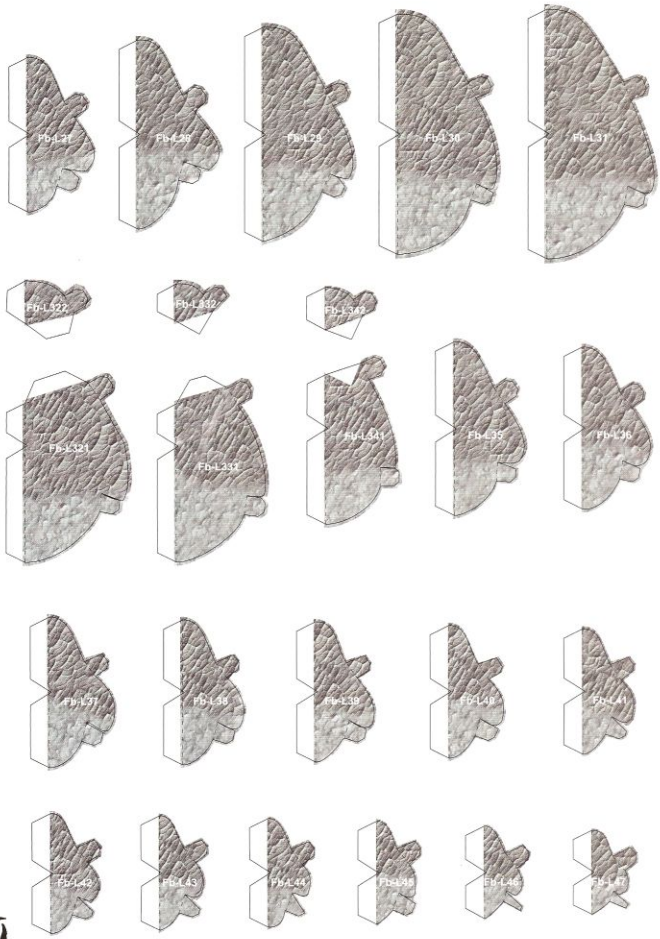
Se-R08
Se-R07
Se-R06
Se-R05
Se-R09
Sf-R08
Sf-R09
Sf-R07
Sf-R05
Sf-R07


G-08
G-09
G-R17
G-L17
G-01
G-02
G-R19
G-L19
G-05
G-03
G-10
G-R16
G-L16
G-06
G-R15
G-L15
G-18
G-11
G-L14
G-R14
G-18
G-R13
G-L13
G-12
G-07
G-04


G-08
G-09
G-R17
G-01
G-17
G-02
G-R19
G-L19
G-03
G-05
G-10
G-R16
G-16
G-06
G-R15
G-L15
G-18
G-11
G-L14
G-R14
G-18
G-R13
G-L13
G-07
G-04
G-12


341
331
321
31
30
29
28
27
26
25
24
Fa-L02
342
332
322
Fa-L022
23
Fa-L01
22
21
20
19
18
17
16
15
14
13
12
11
10
09
08
07
06
05
04
03
02
01
Fa-L04
47
46
45
44
43
42
41
40
39
38
37
36
35
Fa-L03

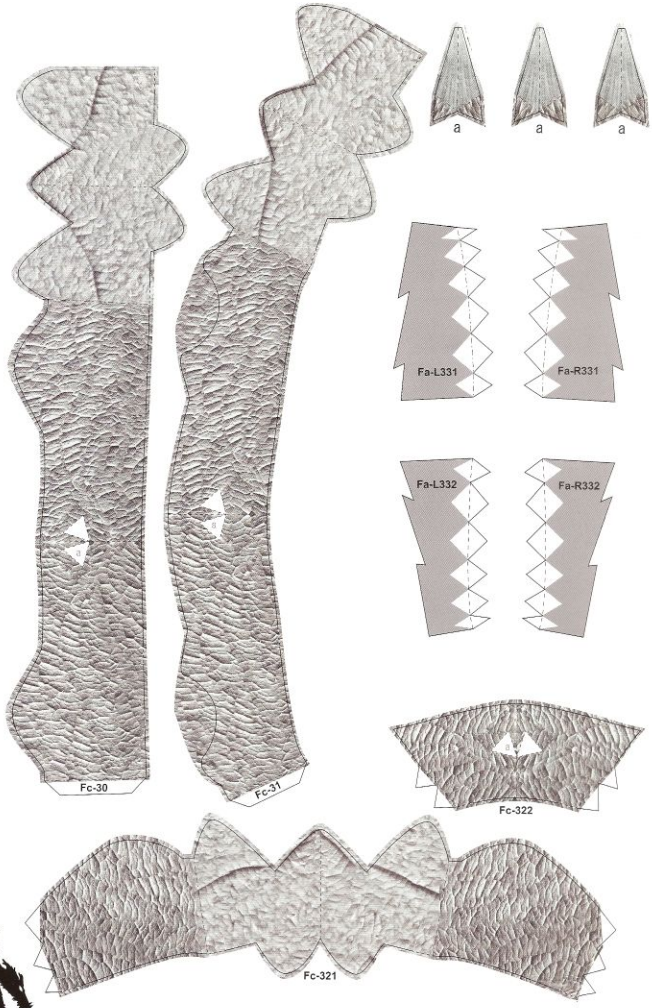

Fa-R01
23
22
21
20
19
18
17
16
15
14
13
12
11
10
09
08
07
06
05
04
03
02
01
Fa-R022
342
332
322
Fa-R02
341
331
321
31
30
29
28
27
26
25
24
Fa-R04
Fa-R03
47
46
45
44
43
42
41
40
39
38
37
36
35

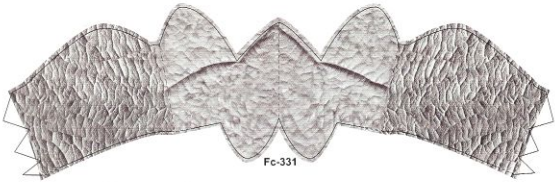

Fb-L21
Fb-L28
Fb-L29
Fb-L30
Fb-L31
Fb-L322
Fb-L323
Fb-L324
Fb-L321
Fb-L327
Fb-L331
Fb-L35
Fb-L36
Fb-L37
Fb-L38
Fb-L39
Fb-L40
Fb-L41
Fb-L42
Fb-L43
Fb-L44
Fb-L45
Fb-L46
Fb-L47

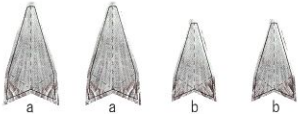

Fb-R31
Fb-R30
Fb-R29
Fb-R28
Fb-R27
Fb-R34
Fb-R32
Fb-R33
Fb-R26
Fb-R36
Fb-R35
Fb-R331
Fb-R37
Fb-R24
Fb-R40
Fb-R39
Fb-R38
Fb-R25
Fb-R47
Fb-R46
Fb-R45
Fb-R44
Fb-R43
Fb-R42

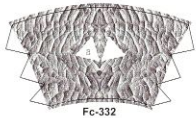
Fc-01
Fc-02
Fc-03
Fc-04
Fc-05
Fc-06
Fc-07
Fc-08
Fc-09
Fc-10
Fc-11
Fc-12
Fc-13
Fc-14
Fc-15
Fc-16
Fc-17
Fc-18
Fc-19
Fc-20
Fc-21
Fc-22
Fc-23
Fc-24
a
b
c
d
e
f

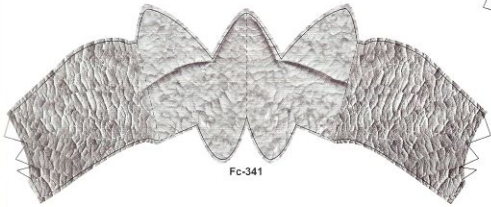
b
Fc-25
b
Fc-26
a
a
Fc-27
a
Fc-28
Fc-29


a
a
a
Fa-L331
Fa-R331
Fa-L332
Fa-R332
Fc-30
Fc-31
Fc-322
Fc-321


Fc-331


a
a
b
b

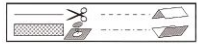

Fc-332

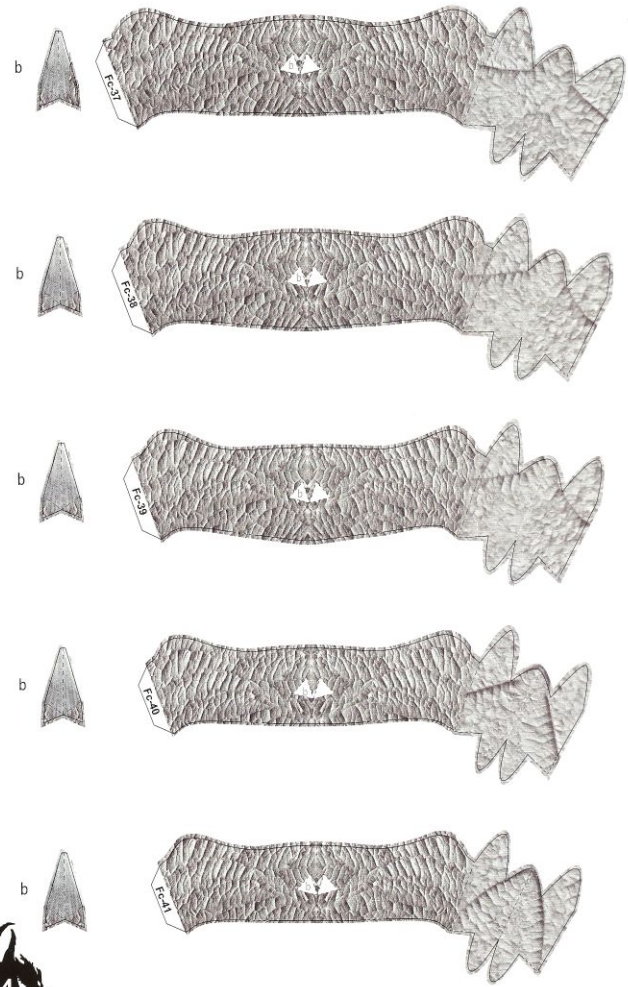

Fc-341

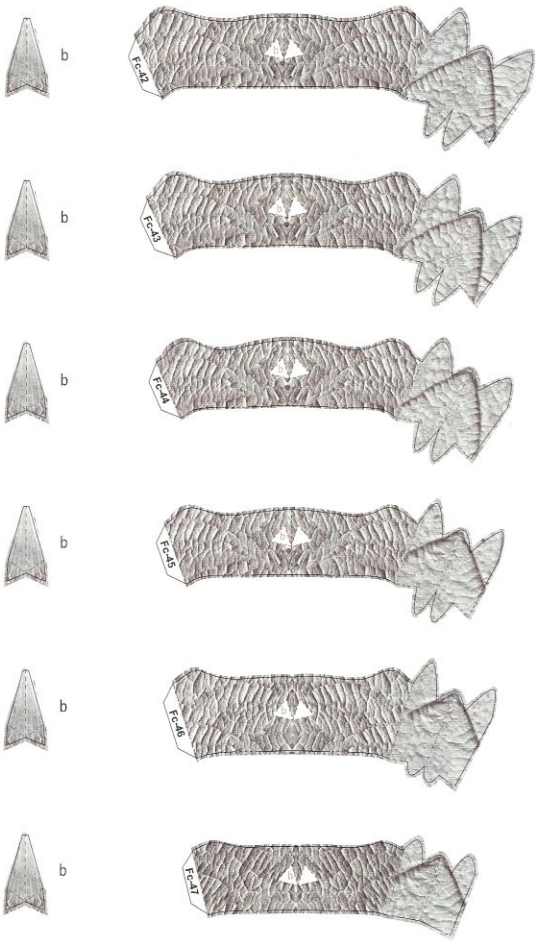

Fc-342

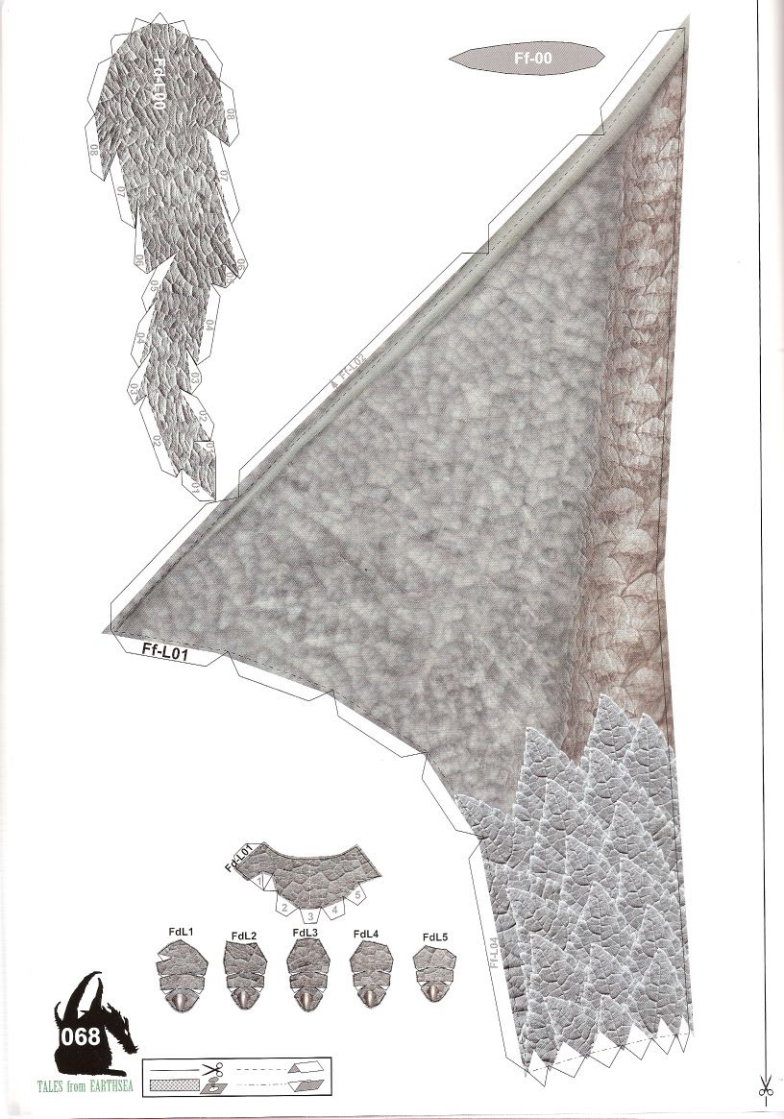

Fc-35

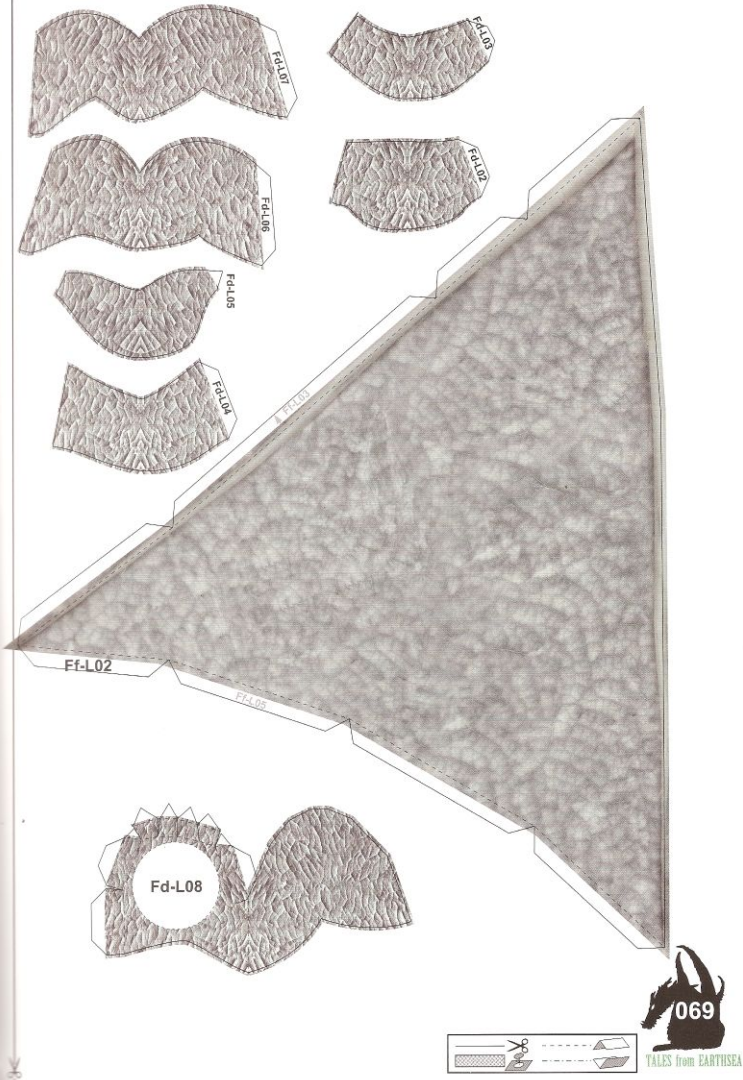

Fc-36



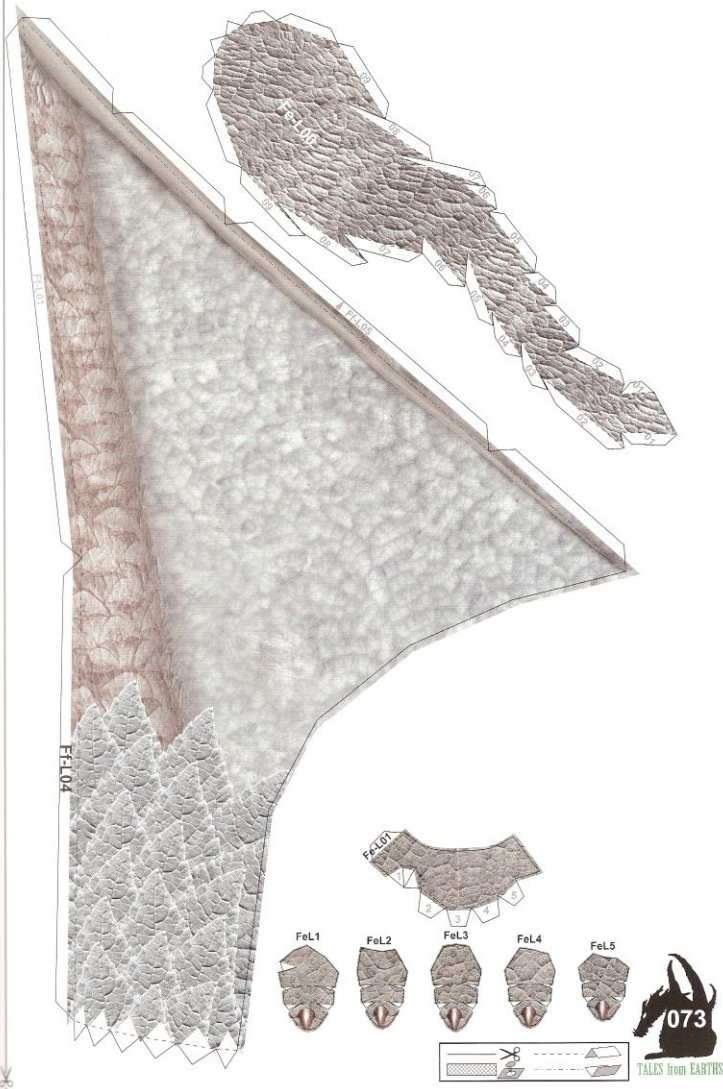

b
Fc-37
b
Fc-38
b
Fc-39
b
Fc-40
b
Fc-41

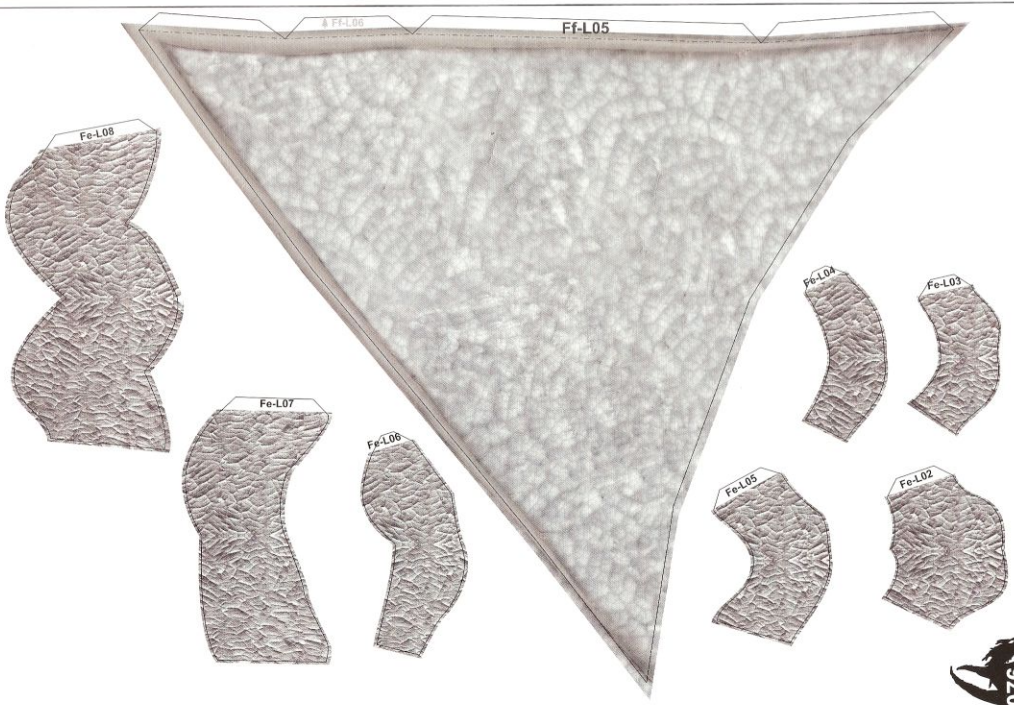

b
Fc-42
b
Fc-43
b
Fc-44
b
Fc-45
b
Fc-46
b
Fc-47


Ff-00
Ff-L00
Ff-L01
Ff-L01
FdL1
FdL2
FdL3
FdL4
FdL5
FfL01
068
TALES from EARTHSEA

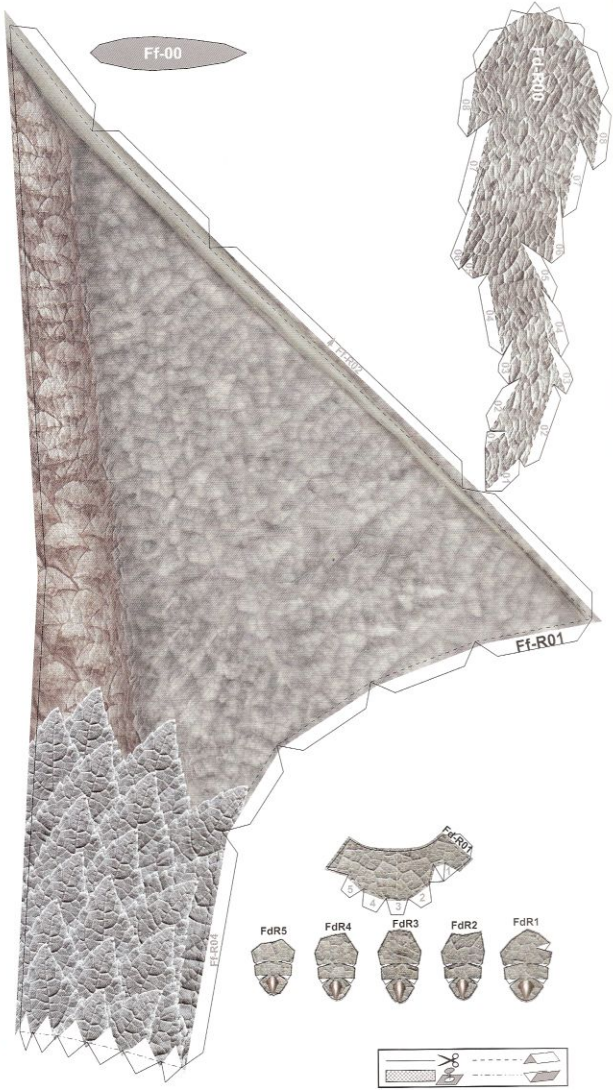

Fd-L07
Fd-L03
Fd-L06
Fd-L02
Fd-L05
Fd-L04
Ff-L03
Ff-L02
Ff-L05
Fd-L08

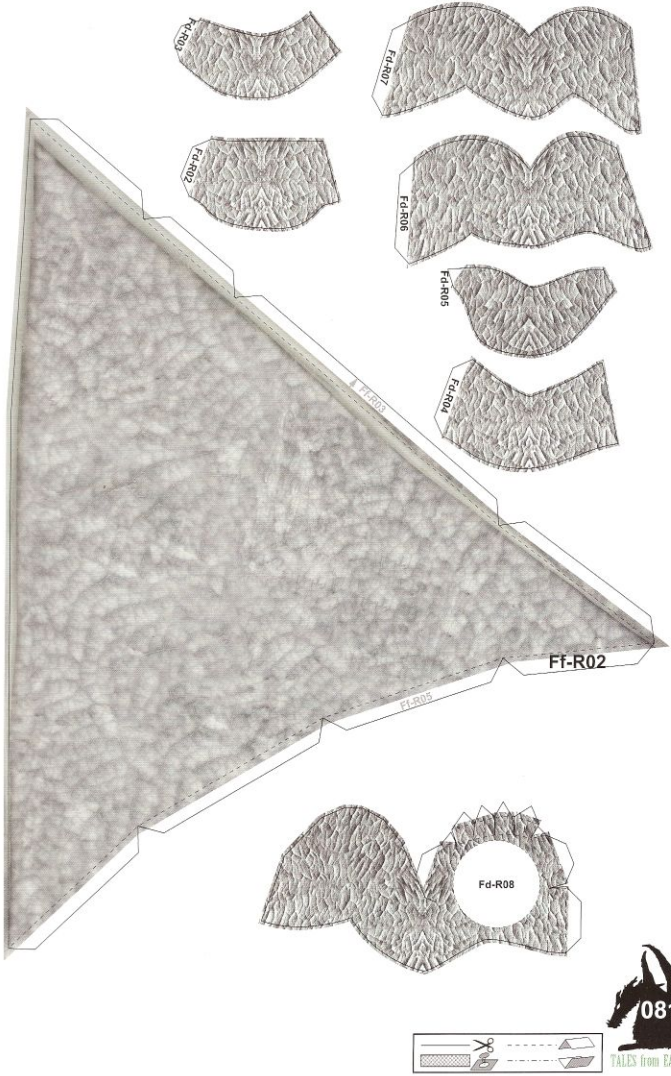

150°
FF-L03
FF-L06


FeL00
FeL01
FeL03
FeL04
FeL05
FeL1
FeL2
FeL3
FeL4
FeL5
073
TALES from EARTHSEA

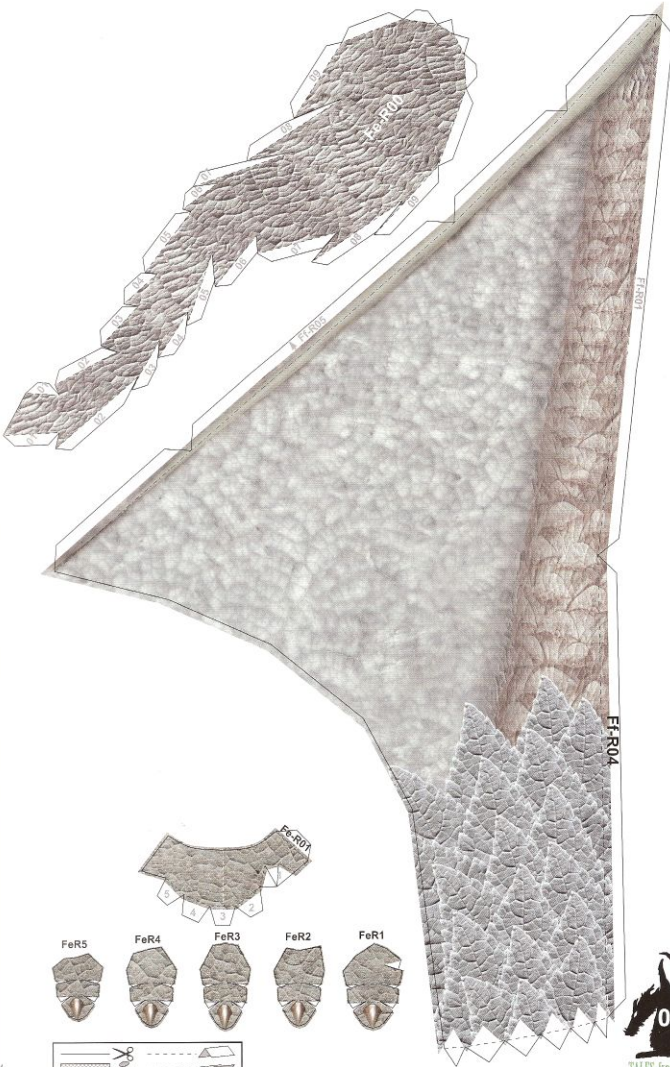

Ff-L06
Ff-L05
Fe-L08
Fe-L07
Fe-L06
Fe-L04
Fe-L03
Fe-L05
Fe-L02


Fe-L09
Fl-L03
Fl-L06


Ff-00
Ff-R02
Ff-R01
Ff-R01
Ff-R04
FdR5
FdR4
FdR3
FdR2
FdR1


Fd-R03
Fd-R07
Fd-R02
Fd-R06
Fd-R05
Fd-R04
Ff-R01
Ff-R02
Ff-R05
Fd-R08
081
TALES from EARTHSEA


150°
Ff-R03
Ff-R04


Fe-R04
Ff-R05
Ff-R01
Ff-R04
Fe-R01
FeR5
FeR4
FeR3
FeR2
FeR1

Fe-R08
Fe-R07
Fe-R06
Ft-R06
Ft-R05
Fe-R01
Fe-R03
Fe-R02
Fe-R04


Fe-R09
Ff-R03
Ff-R06

ゲド戦記 竜 組み立て説明

TALES from EARTHSEA

◆お子様と親御様へ
このペーパークラフトは小学生高学年以上を対象に設計してあります。
むずかしいところは、大人の方に手伝ってもらって作りましょう。

◆用意する物(ほとんどは100円ショップ等で手に入ります)
○ハサミ○カッターナイフ○木工用ボンド(速乾タイプ)○定規○鉄筆、インクの出なくなったボールペン等(折り目を付けるのに使用)○カッティングマット(いらなくなった雑誌や厚紙でも可)○丸棒(丸みを出すのに使います。数種類の径のものがあると便利です)○へら、つまようじ等(接着剤を付けるのに使用)○棒、割り箸等(指の届かない所を押さえたりするのに使用)○ピンセット○針金(太さ1mmのもの約2m、太さ2mmのもの約1.5mの2種類)○ペンチ○糸(飛行タイプを吊るのに使用)

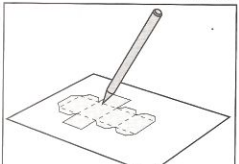
◆線の表記について



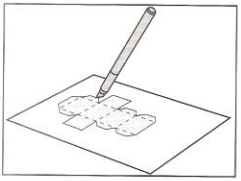
注意:指定線(細かい破線)は折りません。

◆文字や番号の表記について
番号は必ずしも通し番号ではありません。ですから存在しない番号があっても間違いではありません。
同じパーツには同じ番号が付いてる場合があります。

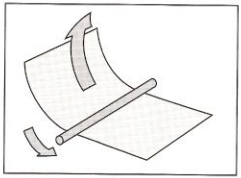
◆組み立ての手順
1.必要なページを本体から切り離します。
2.破線を鉄筆等でなぞり、折り曲げやすいように折り目を付けます。



3.切り取り線をハサミで切り離します。一度に全て切り取らないで組み立てる分だけ切り離しましょう。
全て切り離してしまうと、どの部品か分からなくなるおそれがあります。
穴など切り取り部分がある場合は先にカッター等で切り抜きます。



4.丸い筒状の部品は丸棒や定規などで軽くしごき、丸くくせを付けてから組み合わせます。
小さい部品は切り取る前に先にくせをつけておくと良いでしょう。





丸みくせを付ける場合、
特に指定がなければ影らんだ
凸丸みくせのことです。
凹んだ丸みの場合は凹と指定します。

5.折り線に沿って折り曲げ、ボンドで接着します。接着剤は木工用ボンドがお勧めです。やまとのりや有機溶剤入りの接着剤はお勧めできません。細かいのりしろには、へらやつまようじなどを使います。
ボンドはのりしろの表より反対側の裏に塗ると表面にはみ出さずにきれいに仕上がります。
圧着させたときにボンドがはみ出すような付け過ぎです。
しっかりつくまでしばらく指で押さえます。ボンドが乾くまで押さえておく必要はありません。
組み合わせはいきなり貼り付けず、仮組みして確認してから貼っていきましょう。
木工用ボンドは付け過ぎると紙が凸凹によれたり、はみ出て表面が汚れたりするので気をつけましょう。はみ出した場合はすぐに濡れティッシュ等で拭き取ると良いでしょう。



◆組み立ての際の注意
○カッターナイフなど刃物の取り扱いには十分ご注意ください。切れ味の落ちたカッターで切るのは余計な力が加わり大変危険です。良く切れるカッターをご使用ください。またカッターを使用する際にはカッティングマットや厚紙などを下敷きとしてお使いください。
○展開の都合上、のりしろ幅がせまい所があります。そういう部分には裏から余った紙を貼り付けて補強してください。
○紙の厚み分誤差が出てパーツが若干合わなくなる場合があります。その場合は少し大きめに切れ目を入れる等して対処してください。
○似通ったパーツがあるので、必ず接着前に仮組みでパーツの前後左右上下も確認してから接着するように心がけてください。

※デザイン上、尖ったパーツがあるので、つついたりしないように注意してください。小さなお子様には絶対に与えないでください。

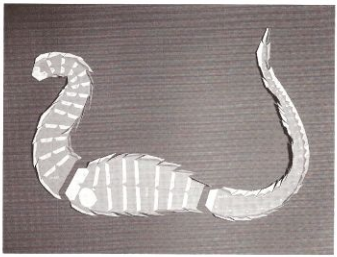
●パーツ番号の説明

座りタイプと飛行タイプは、翼の作り方等が異なるだけで、あとは基本的な作り方はほとんど同じです。
ですので、同じ作り方のものはまとめて説明いたします。

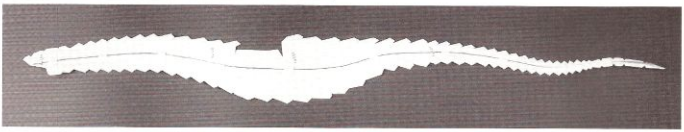
パーツ番号のSは座りタイプ、Fは飛行タイプを意味します。Lは左パーツ、Rは右パーツを意味します。
ですから例えば、Sa-R01は座りタイプで右パーツとなります。

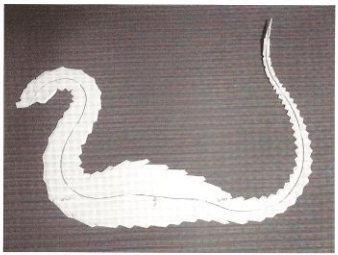
例えば、a-R01と説明にある場合は、Sa-R01とFa-R01のパーツの説明という事です。
b-27とある場合は、Sb-L27とSb-R27、Fb-L27とFb-R27のパーツの説明という事になります。

胴体　骨組み　使用ページ　○座りタイプ:p005～p010　○飛行タイプ:p047～p050

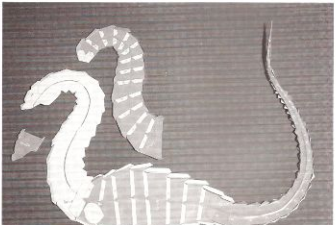


a-01、a-02、a-03、a-04を周りに余白を残して
少し大きめに切り取ります。
先に線のとおり切って、後で折ろうとしても
細かい部分は折り辛い場合があるからです。
折り線に鉄筆で筋を入れ、
ハサミで切れ込みを入れてから折り曲げます。
細かい部分はピンセットで挟んで折り曲げると良いでしょう。
折り曲げた後、余白を切り取ります。





a-R01とa-R02とa-R03とa-R04を接着してつなげます。
太さ1mm(0.9mm～1.2mm)ほどの針金を
点線に沿うように曲げ、上に配置します。
針金は長めに用意し、形が合ったら後で正しい長さに切ります。
針金はだいたい中心を通っていれば、
多少点線とずれていてもOKです。
針金は尻尾から頭の先まで1本で通して入れます。
針金がずれないように、余白の紙を貼って
所々とめておくと良いでしょう。
しばらく上に重しをのせて余計な歪みを取り除きます。
尻尾の先端は尖って危ないため、針金は先端から
1cmほど余白を残して切り取ってください。

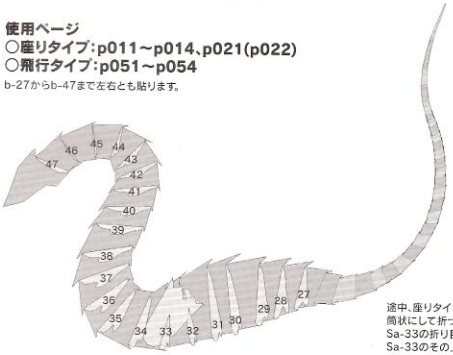


a-R01にa-L01を尻尾の先端から少しずつ
貼って針金を挟んで接着します。
端の折り曲げたのりしろまで
接着しないように注意してください。
a-L01が貼れたら、次にa-L02を
ずれないように貼っていきます。
同様にa-L03、a-L04も貼り合わせます。

飛行タイプのFa-022は別パーツになります。

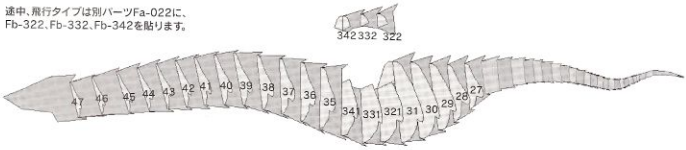
使用ページ
○座りタイプ:p011～p014、p021(p022)
○飛行タイプ:p051～p054

b-27からb-47まで左右とも貼ります。

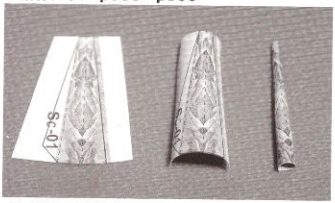


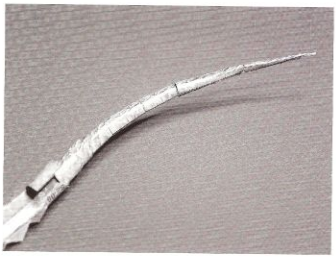
途中、座りタイプはSb-331を331の位置に先に貼り、
筒状にして折ったSa-33をのりしろを合わせて貼り、
Sa-33の折り目がSa-02の点線の位置に合うように接着します。
Sa-33のその上にSb-332を貼ります。

途中、飛行タイプは別パーツFa-022に、
Fb-322、Fb-332、Fb-342を貼ります。

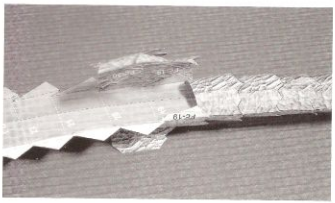


使用ページ
○座りタイプ:p015～p026
○飛行タイプ:p055～p066



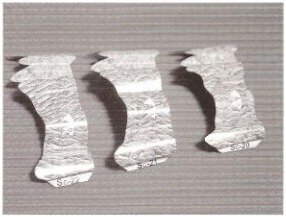


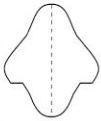
cパーツは尻尾の先端から頭の先に向かう順番で貼っていきます。
c-01に丸くせを付け、円錐形にしてから尻尾の先端に被せて接着します。
細かくて円錐形に出来ない人は折り目を付けて四角錐にしても構いません。

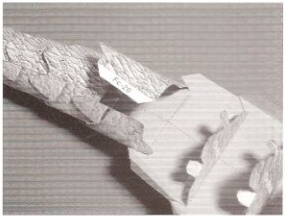


c-02からc-19まで、丸くくせを付け、数字の順にaパーツの周りに
巻きつけるようにのりしろの位置を合わせて円筒形に接着します。
前後上下を間違えないように注意してください。
cパーツはaパーツの上下ののりしろの切れ込みに差し込んで、
先に貼ったcパーツの上に重なるように次のcパーツを被せていきます。

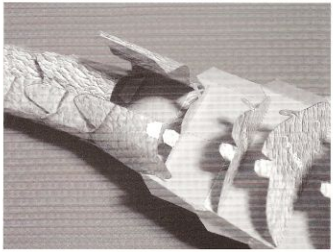
c-20からc-26までは写真のように凸凹丸みくせを付け、断面が図のようになるように意識して順に貼っていきます。







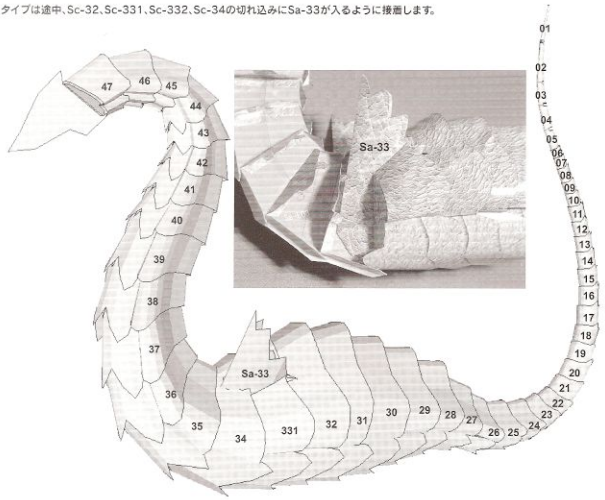
c-27からc-47まで尻尾と同じように丸くくせを付けたパーツを貼っていきますが、
bのパーツにのりしろを合わせて接着します。裏にヘラや割り箸を差し込んで押さえます。



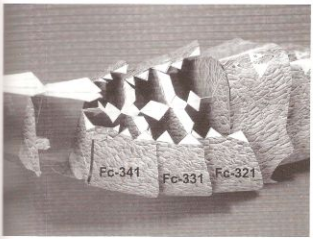


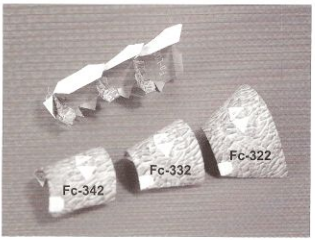


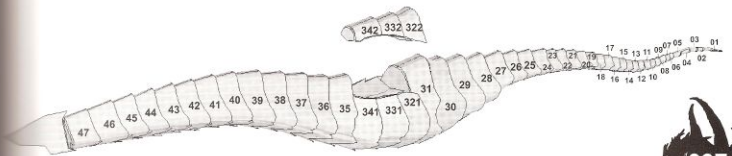
座リタイプは途中、Sc-32、Sc-331、Sc-332、Sc-34の切れ込みにSa-33が入るように接着します。



飛行タイプはFc-321、Fc-331、Fc-341の上部が空き、後でFa-L331＋Fa-R331を貼り付けふさぎます。
Fc-322、Fc-332、Fc-342はFa-022に貼り付け別パーツとなります。



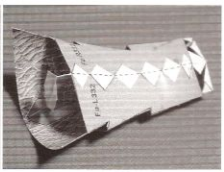




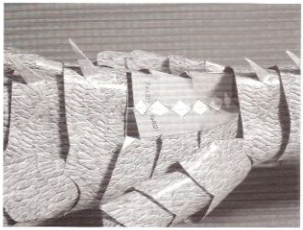


飛行タイプでは
Fa-L331とFa-R331ののりしろを
交互にかみ合わせて接着します。
写真のように凹カーブができるようにします。
Fa-L332とFa-R332ののりしろも
交互にかみ合わせて接着します。
写真のように凸カーブができるようにします。

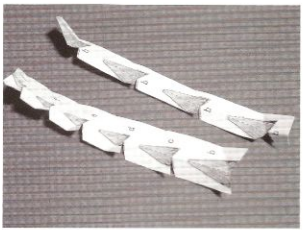




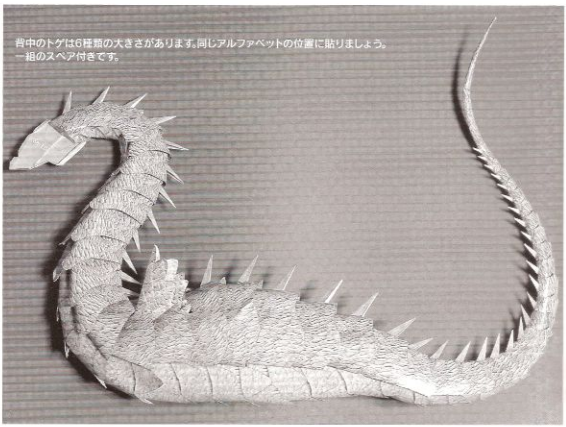
Fa-L332＋Fa-R332をFa-022の胴体別パーツに接着します。



Fa-L331＋Fa-R331は胴体上部穴をふさぐように接着します。
位置は写真を参照ください。



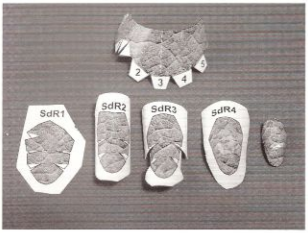
背中のトゲのように細かいパーツは先に線のとおり切って、
後で折ろうとしても細かい部分は折りづらい場合があるので、
周りに余白を残して少し大きめに切り取ります。
鉄筆で折り線を入れ、切れ込みを入れて、折り曲げます。
細かい部分はピンセットで挟んで折り曲げると良いでしょう。
折り曲げた後、余白を切り取ります。



背中のトゲは6種類の大きさがあります。同じアルファベットの位置に貼りましょう。
一組のスペア付きです。

使用ページ　○座りタイプ:p027～p042　○飛行タイプ:p067～p090

指
指のように細かいパーツは周りの余白を残して切り取り、
丸くせを付けてから、ハサミで切れ込みを入れ、のりしろを接着します。
接着剤が乾いてから、周りの余白を切り取ると工作がし易いです。

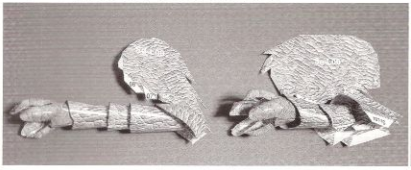


指が出来たらd-01やe-01に取り付けます。



手足は一組のスペアパーツ付きです。

脚の骨組み
d-00、e-00に切れ込みを入れ、のりしろ部分を折り曲げます。

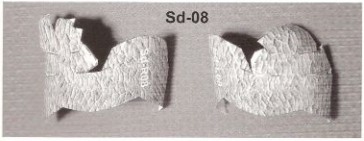


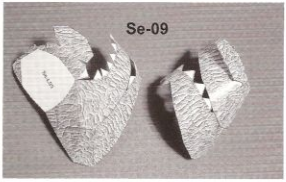


前脚d-00に脚の先端から付け根に向かって、数字の順にd-01～d-07を巻き付けるようにのりしろの位置を合わせて接着していきます。前後上下を間違えないように注意してください。

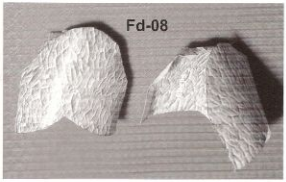
後脚も同様にe-00に脚の先端から付け根に向かって、数字の順にe-01～e-08を巻き付けるようにのりしろの位置を合わせて接着していきます。前後上下を間違えないように注意してください。

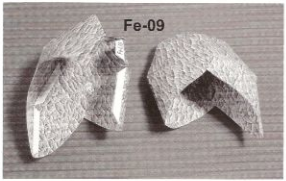
座りタイプの脚、Sd-08とSe-09を組み立てます。



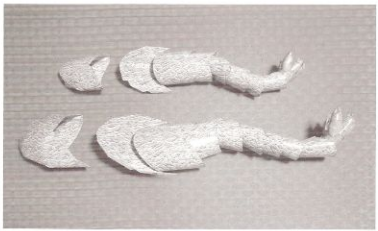


飛行タイプの脚、Fd-08とFe-09を組み立てます。

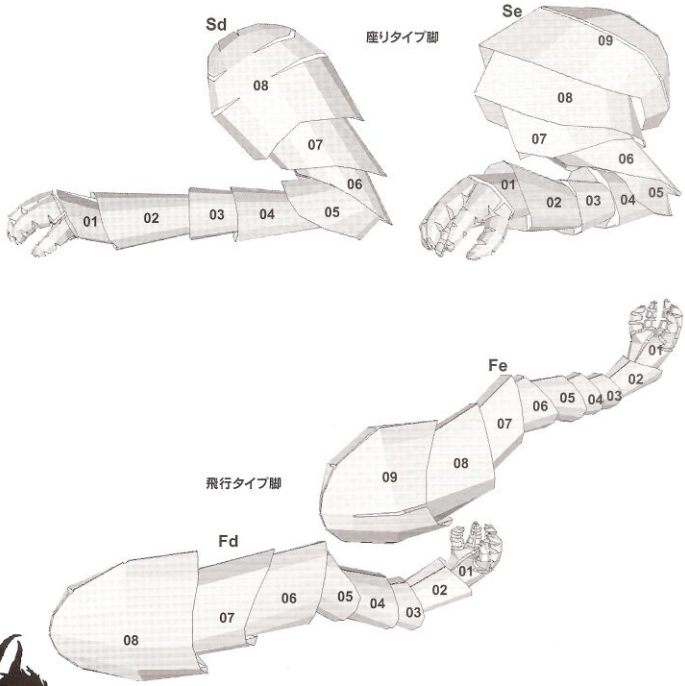




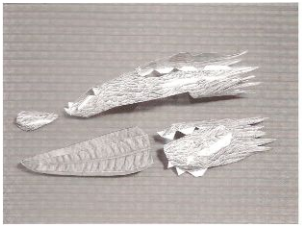




d-08は組んだ後、d-00に被せて接着します。
e-09も同様で、e-00に被せて接着します。

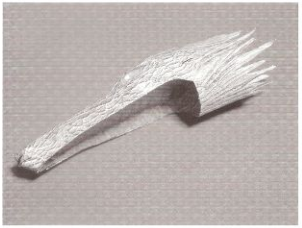


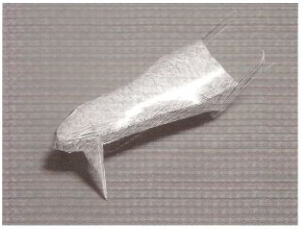
使用ページ　○頭は座りタイプと飛行タイプとも共通です。:p043～p046、p091(p092)スペア



Gパーツは写真をよく見て、丸みくせを付けておきます。
G-01にG-02を貼り、組み立てます。
G-03はあらかじめ黒スリット部分にカッターで切れ込みを入れておきます。
後で下顎の支点が黒スリット部穴に入ります。
G-03を丸めて貼り、組み立てます。

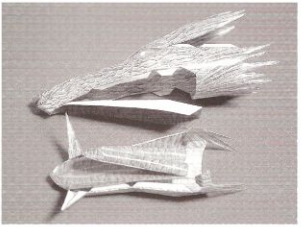




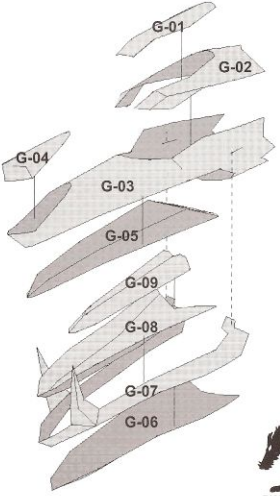




組んだG-01とG-02、G-04をG-03に貼り、
G-03に口内G-05を貼ります。



下顎G-06、G-07を組み、口内G-08を貼ります。
舌G-09を組み、のりしろを折り曲げて、G-08の裏に貼ります。

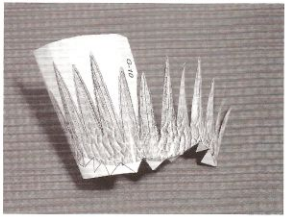


ツノG-17は丸みくせを付けてから折り、ツノの先端ののりしろから根元に向かって順番に接着していきます。
先端の余白は残しておき、最後に切り取ると作りやすいでしょう。
ツノG-17を頭G-01に貼ります。

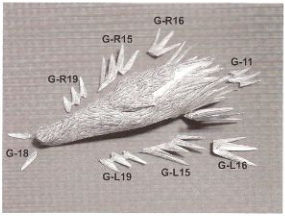


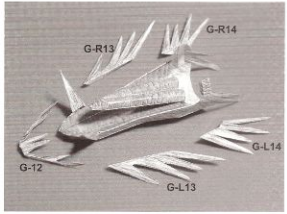


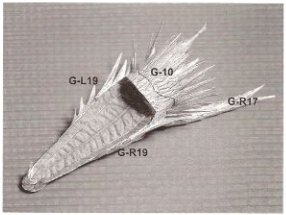
ヒゲG-10～G-16、歯G-18とG-19を貼ります。
貼り付け位置は写真を参照してください。G-11は頭の上G-02の薄い点線上に貼ります。
※ヒゲや歯は平面より、あらかじめ軽く折って断面に半丸みくせを付けて立体的にしてから
切り取ると見栄えが良くなります。
腕に自信のある方はチャレンジしてみてください。

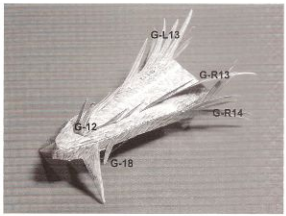


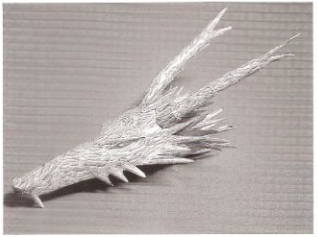




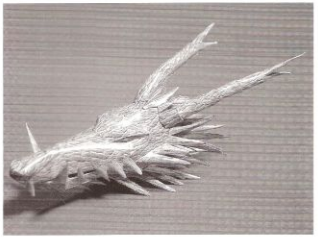






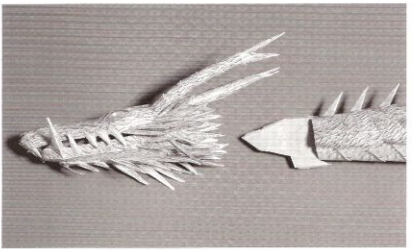








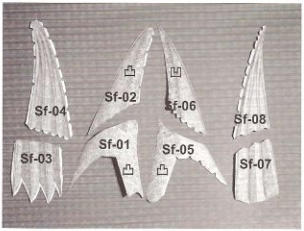
下顎の支点部分裏には補強のために紙を折り曲げて貼ります。
頭のスリット穴に入るように下顎の支点部を折って、差し込みます。
差し込んだら抜けないように折った部分を置します。
顎は開閉します。

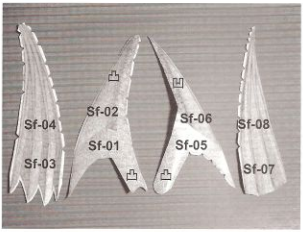


骨組みa-04を頭に差し込むように接着します。

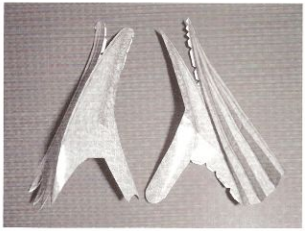
頭は一組のスペアパーツ(P.092)付きです。

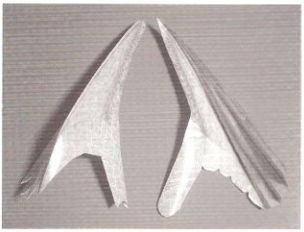
翼　使用ページ　○座りタイプ:p027～p042



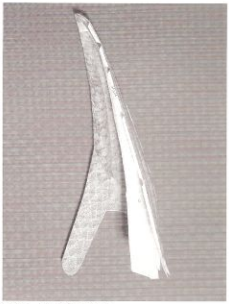


凸丸みを付けたSf-01とSf-02を接着します。Sf-03とSf-04に折り目を入れ、接着します。
凸丸みを付けたSf-05と凹丸みを付けたSf-06を接着します。Sf-07とSf-08に折り目を入れ、接着します。
Sf-04とSf-08の折り目は上に行くほど浅くします。





Sf-01とSf-03、Sf-02とSf-04の外側の線を接着します。Sf-05とSf-07、Sf-06とSf-08の外側の線を接着します。
のりしろは少しずつ順に貼り合わせていきます。



Sf-01～Sf-04の内側に
Sf-05～Sf-08の線を合わせて接着します。
Sf-07の端はSf-03に合わせて切り取ります。

●座りタイプの組み立て

座りタイプの脚の貼り付け位置は点線を目安に、
平らな台の上に置き、ぐらつかない位置で
現物合わせで接着します。
裏にヘラや割り箸を差し込んで押さえます。

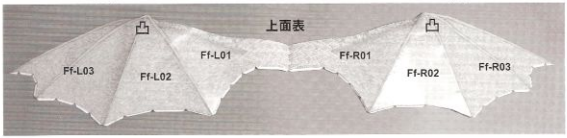


座りタイプは最後に翼を差し込んで完成です。
首や尻尾は針金入りなので曲げられます。

翼　使用ページ　○飛行タイプ:p067～p090

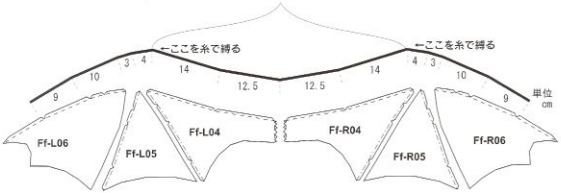
Ff-01、Ff-02、Ff-03を接着します。Ff-L01とFf-R01はのりしろを交互にかみ合わせて接着します。



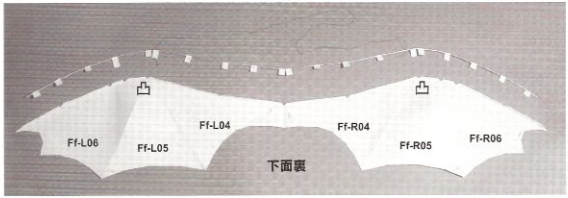


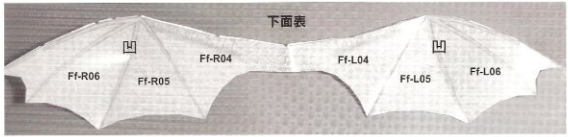
Ff-04、Ff-05、Ff-06を接着します。Ff-L04とFf-R04はのりしろを交互にかみ合わせて接着します。

太さ2mmほどの針金を1本通してFf-04、Ff-05、Ff-06の裏前線の点線に沿うように曲げ、中に配置します。
アルミ線や銅線等の柔らかい針金は重さに耐え切れず曲がってしまうので、鉄製の物を使用します。



吊るための糸を図を参考に針金に縛ります。糸の長さは90cmほどです。
糸はのりしろの隙間から外に出しておきます。
余白の紙を使い、所々針金に巻いて貼り、翼点線上にとめます。

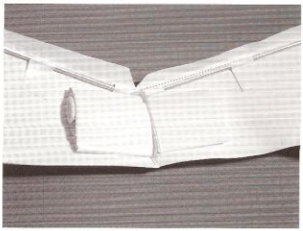




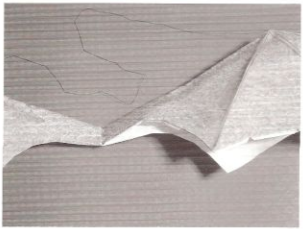
前後から見た翼の中心の角度は約150°になるように曲げます。翼端も少し下げ角度を付けます。
150°の紙を切り取り分度器代わりに使用します。





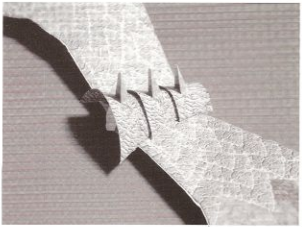


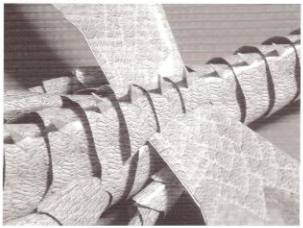
翼の根元中心部の断面がFf-00のレンズ状になるように
余白の紙を折って翼の中に貼り付け、翼がつぶれないようにします。



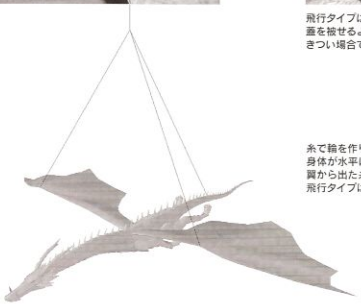
翼の前縁ののりしろを合わせて接着し、
後縁部ののりしろも合わせて接着します。
後縁部、下の翼が少しはみ出るようなら、
上の翼に合わせて切り取ります。

●飛行タイプの組み立て 飛行タイプの脚の貼り付け位置は丸い点線を目安に、図を参考に接着してください。

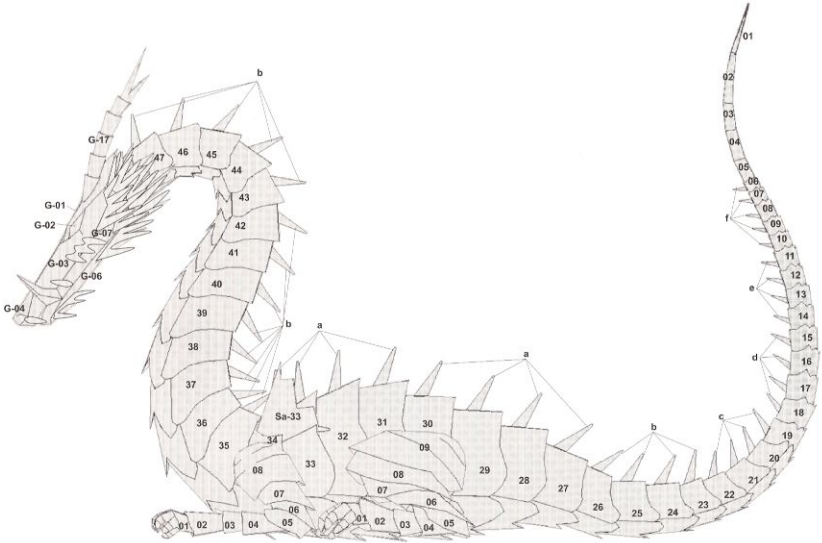


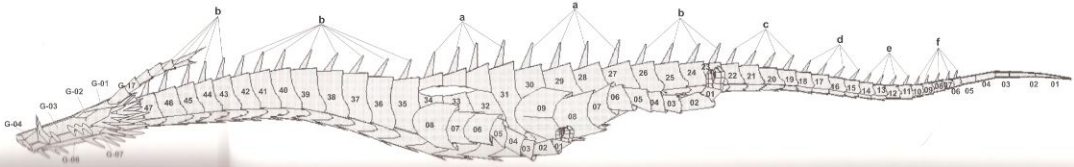


飛行タイプは翼を胴に接着し、
蓋を被せるようにサンドイッチして接着します。
きつい場合でも少しずつ丁寧に差し込めば入ります。



糸で輪を作り、尻尾に通して縛ります。
身体が水平になるような長さに調節して、
翼から出た糸と結び付けます。
飛行タイプは天井等から吊るして飾ってください。


G-17
G-01
G-02
G-07
G-03
G-06
G-04
Sa-33



●プロフィール

島崎恭一(しまざききょういち)

1961年、埼玉県生まれ。
多摩美術大学デザイン科グラフィックデザイン専攻卒。特殊造形家。
特殊造形から3DCGまで幅広い分野で活躍。
書籍では講談社刊
『ターミネーター2ペーパークラフトBOOK』
『ハウルの動く城ペーパークラフトBOOK』がある。

ホームページにペーパークラフト追加情報が掲載される場合があります。
http://ghostman.zombie.jp



ゲド戦記(せんき) ペーパークラフトBOOK(ブック)

2006年8月31日　第1刷発行
(定価はカバーに表示してあります)

制作……島崎恭一
発行者……五十嵐隆夫／由利耕一
発行所……株式会社 講談社
〒112−8001　東京都文京区音羽2−12−21
電話　販売部　(03)5395−3608
業務部　(03)5395−3603

株式会社 講談社コミッククリエイト
〒112−0013　東京都文京区音羽1−17−14　音羽YKビル3F
電話　編集部　(03)3943−7262

印刷所……共同印刷株式会社
製本所……共同印刷株式会社
デザイン……RAZZO／白石夕子
撮影……花岡徹治

【本書の無断複写(コピー)は著作権法上での例外を除き、禁じられています。】

落丁本、乱丁本は購入書店名を明記のうえ、講談社業務部宛にお送りください。
送料小社負担にてお取り替えいたします。(電話03−5395−3603)
この本についてのお問い合わせは(株)講談社コミッククリエイト宛にお願いいたします。

編集部では、この作品に対する皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。下記宛にお知らせください。
※なお、お送りいただいたお手紙・おハガキは、ご記入いただいた個人情報を含めて
著者にお渡しすることがありますので、あらかじめご了承のうえ、お送りください。

〒112−0013　東京都文京区音羽1−17−14　音羽YKビル3F
講談社コミッククリエイト編集部　「ゲド戦記 ペーパークラフトBOOK」係

© 2006 二馬力・GNDHDDT
企画／スタジオブリー講談社コミッククリエイト　発売／講談社

N.D.C.728　107p　30cm　ISBN4−06−364665−3
Printed in Japan

9784063646658

1920979038004

ISBN4-06-364665-3

C0979 ¥3800E (0)

講談社

定価：本体3800円(税別)

ゲド戦記

TALES from EARTHSEA

ペーパークラフトBOOK

©2006 二馬力・GNDHDDT



『ハウルの動く城』に続き、
ジブリ作品完全ペーパークラフト化!
この一冊で、座りタイプ・
飛行タイプの2体作れます!
30×37cm、80×100cmの
大迫力スケールを
あなたの手で組み立ててください。

